



スキャンコンバータ

# VSC-02

---

取扱説明書 Ver.1.2.0

この度は、スキャンコンバータ「VSC-02」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
「VSC-02」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。  
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

安全に使用していただくために、重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
---	---

 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します
---	--

## 絵表示の例

	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。 右図の場合は「感電注意」⇒	
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。 右図の場合は「分解禁止」⇒	
	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。 右図の場合は「電源プラグを抜く」⇒	



# 警告

## □異常状態の(煙が出ている、異音・異臭がする)ときは電源プラグを抜く-----



煙がでていたり変な臭いや音がするなどの異常状態で使用を続けると、漏電や火災の原因になります。すぐに使用中止し、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社営業部に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。

## □ふたは絶対に開けない-----



この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。  
この機器を分解、修理・改造しないでください。火災・感電の原因となります。  
内部の点検・調整・修理は当社営業部にご依頼ください。

## □指定以外の電源電圧で使用しない-----



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。

## □指定以外のヒューズは使用しない-----



表示されたヒューズ以外のものは使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。

## □機器内部に物や水を入れない-----



この機器の開口部(通風孔など)から金属類や可燃物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



万一異物が機器内部に入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



万一機器内部に水などの液体が入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



**□電源コードが破損するようなことはしない**-----

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本体の下敷きになったりしないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、当社営業部に交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

**□不安定な場所に置かない**-----

本体を不安定な台の上や傾いた場所などに置くと、転倒・落下して怪我をする恐れがあります。また、故障の原因となります。

**□雷が鳴り出したら電源プラグには触れない**-----

感電の原因となる恐れがあります。

**□電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む**-----

異常発生時、直ちに電源プラグをコンセントから抜けるよう留意してください。

**□電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**-----

ショートや発熱により、感電、漏電、火災の原因となります。

また、たこ足配線はしないでください。

# ⚠ 注意

## □ 湿気や埃の少ない場所、直射日光の当たらない場所に置く-----



湿気や埃の多い場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。

## □ 通風孔をふさがない-----



この機器の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

## □ お手入れの時は電源プラグを抜く。抜くときは必ずプラグを持って抜く-----



お手入れの際は安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## □ この機器の上に重い物を置かない-----



重い物や、本体からはみ出るような大きな物を上に置くと不安定になり、倒れたり落ちたりして怪我の原因になることがあります。

## □ 長時間使用しない時は電源プラグを抜く-----



電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因になることがあります。



**□濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**-----

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になることがあります。

**□定期的に電源プラグのチェックを行う**-----

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、その間に埃やゴミが溜まってきます。さらに空気中の水分などを吸収すると、電気がながれやすくなるため（トラッキング現象）、プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐため、定期的に電源プラグがしっかり差さっているか、埃が溜まっていないかなどを点検してください。

**□本体付属の専用 AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使わない**-----

付属のもの以外をご使用になられますと、不適合により火災や感電の原因になることがあります。

\*標準付属品の AC 電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、弊社までご相談ください。

**□使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る**-----

使用の際は使用温度/湿度範囲、保存の場合は保存温度/湿度範囲を守ってください。  
範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になることがあります。

**□他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る**-----

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従ってください。電源を切らずに接続を行うと、火災や感電の原因になることがあります。

## 目次

1. 概要	11
2. 特長	11
3. 主な機能	12
4. フロントパネルの説明	13
5. リアパネルの説明	14
6. 操作方法	16
6-1. 入力チャンネルの選択操作	16
6-2. キーロック設定/解除の選択操作	16
6-3. 各種メニューの表示操作	17
6-3-1. プリセットメモリの呼出/登録	18
6-3-2. NTSC 入力画像調整	18
6-3-3. RGB コンバート出力画像調整 (VGA~SXGA+, サイズ、ポジション、内蔵テストパターン)	21
6-3-4. RGB 入力画像調整 (サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)	23
6-3-5. RGB 入力タイミング編集	25
6-3-6. 外部コントロールコマンド作成・編集	27
6-3-7. 外部コントロールコマンド実行	28
6-3-8. マルチ画面設定	28
6-3-9. ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整	30
6-3-10. その他設定 (ラストメモリ、プザー、外部同期、フェードアウト・イン、ブルーバック、 端末、バージョン)	31
7. 通信制御コマンド	33
7-1. 通信フォーマット	33
7-2. コネクタ、ケーブル仕様	33
7-3. 制御コマンドフォーマット	34
7-4. 返り値	34
7-5. コマンド一覧	35
7-6. コマンド詳細	38
7-6-1. @IOS (Input/Output Select)	38
7-6-2. @GCP (Get Cross Point)	39
7-6-3. @SPI (Set Picture In picture)	40
7-6-4. @GPI (Get Picture In picture)	41
7-6-5. @SNS (Set Ntsc Source)	42
7-6-6. @GNS (Get Ntsc Source)	43
7-6-7. @SPM (Store Preset Memory)	44
7-6-8. @RPM (Recall Preset Memory)	45
7-6-9. @SSC (Set Scanconvert Clock)	46
7-6-10. @GSC (Get Scanconvert Clock)	47
7-6-11. @SSH (Set scanconvert Sampling pHase)	48
7-6-12. @GSH (Get scanconvert Sampling pHase)	49
7-6-13. @SSS (Set Scanconvert Size)	50
7-6-14. @GSS (Get Scanconvert Size)	51
7-6-15. @SSP (Set Scanconvert Position)	52
7-6-16. @GSP (Get Scanconvert Position)	53
7-6-17. @SIM (Set Input Mode)	54
7-6-18. @GIM (Get Input Mode)	55
7-6-19. @SCF (Set Color Format)	56

7-6-20.	@GCF (Get Color Format)	57
7-6-21.	@SOT (Set Output Timing)	58
7-6-22.	@GOT (Get Output Timing)	59
7-6-23.	@SAP (Set AsPect)	60
7-6-24.	@GAP (Get AsPect)	61
7-6-25.	@SMS (Set Mask Size)	62
7-6-26.	@GMS (Get Mask Size)	63
7-6-27.	@SOP (Set Output Position)	64
7-6-28.	@GOP (Get Output Position)	65
7-6-29.	@SOS (Set Output Size)	66
7-6-30.	@GOS (Get Output Size)	67
7-6-31.	@SFL (Set FiLter)	68
7-6-32.	@GFL (Get FiLter)	69
7-6-33.	@SKY (Set KeYstone)	70
7-6-34.	@GKY (Get KeYstone)	71
7-6-35.	@STP (Set Test Pattern)	72
7-6-36.	@GTP (Get Test Pattern)	73
7-6-37.	@SBR (Set BRight)	74
7-6-38.	@GBR (Get BRight)	75
7-6-39.	@SCO (Set COntラスト)	76
7-6-40.	@GCO (Get COntラスト)	77
7-6-41.	@SIT (Set InTensity)	78
7-6-42.	@GIT (Get InTensity)	79
7-6-43.	@SST (Set SaTuration)	80
7-6-44.	@GST (Get SaTuration)	81
7-6-45.	@SGM (Set GaMma)	82
7-6-46.	@GGM (Get GaMma)	83
7-6-47.	@SHU (Set HUe)	84
7-6-48.	@GHU (Get HUe)	85
7-6-49.	@SPP (Set Picture in picture Position)	86
7-6-50.	@GPP (Get Picture in picture Position)	87
7-6-51.	@SPS (Set Picture in picture Size)	88
7-6-52.	@GPS (Get Picture in picture Size)	89
7-6-53.	@SMD (Set Multi Display)	90
7-6-54.	@GMD (Get Multi Display)	91
7-6-55.	@SDS (Set Multi Display Size)	92
7-6-56.	@GDS (Get Multi Display Size)	93
7-6-57.	@SDP (Set multi Display Position)	94
7-6-58.	@GDP (Get multi Display Position)	95
7-6-59.	@GIV (Get Id & Version)	96
7-6-60.	@SEC (Set External Command)	97
7-6-61.	@GEC (Get External Command)	100
7-6-62.	@EXC (EXecute external Command)	102
7-6-63.	@SFP (Set Font Parameter)	103
7-6-64.	@GFP (Get Font Parameter)	104
7-6-65.	@SFD (Set Font Data)	105
7-6-66.	@GFD (Get Font Data)	106
7-7.	アスキーから 16 進数への変換表	107
8.	製品仕様	108

---

9. 故障かな?と思う前に.....	109
9-1. ....	109

## 1. 概要

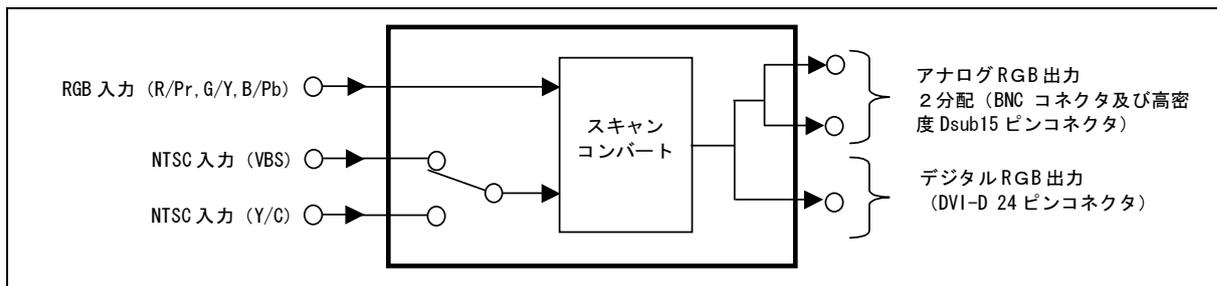
VSC-02 は入力に NTSC1 入力(VBS または Y/C)、RGB1 入力 (R/Pr,G/Y,B/Pb)、RGB 出力にアナログ 2 分配出力、デジタル 1 出力 (アナログ出力と同時使用可能)を装備したスキャンコンバータです。

RGB 入力の解像度はVGA～WUXGA 又はアナログ YPbPr 色差信号(D1～D5)で自動認識され、最適な値に設定されます。

RGB 出力の解像度はVGA～SXGA+で選択でき、NTSC 入力の映像をRGB 画像上(またはその逆)にウィンドウ表示するピクチャ・イン・ピクチャ(PIP)機能を搭載しています。

RGB および NTSC 入力にはループスルー出力があり電源をオフにした状態でもスルー画像を出力することができます。

外部制御用通信ポートとしてRS-232Cを2チャンネル装備していますので、各種調整値の設定を遠隔操作することができます。



## 2. 特長

- RGB 入力はVGA から最大 WUXGA 又はアナログ YPbPr 色差信号(D1～D5)の解像度に対応
- NTSC 入力(VBS または Y/C)をアップコンバート
- RGB 出力はVGA から最大 SXGA+の解像度に対応
- デジタル RGB(DVI)出力を標準搭載
- 最大 9 画面までのマルチディスプレイ機能
- RGB 画像上にビデオ画像を子画面表示または NTSC 出力画面上に RGB 子画面表示可能(PIP 機能)
- 状態記憶プリセットメモリ最大 4 メモリ
- ブライトネス、コントラスト、台形補正等、豊富な調整機能
- 出力画像にテストパターンや文字を重ね合わせて表示可能
- RS-232C で外部機器を制御可能

### 3. 主な機能

機能	説明ページ
プリセットメモリ(設定状態記憶メモリ)最大 4 メモリ の登録 / 呼出	→ 18
NTSC 入力ソース(VBS/YC/内蔵パターン) 選択、映像調整(コントラスト、ブライトネス、HUE、インテンシティ、サチュレーション)	→ 18
RGB スキャンコンバート出力 VGA / SVGA / XGA / WXGA / QVGA / SXGA / SXGA+ の選択	→ 21
内蔵テストパターン 1ドットおき縦縞 / クロスハッチ / ラスター / タイトルテロップ の選択	→ 21
RGB 入力画像サンプリングフェーズ、クロック数 の調整	→ 23
ラストメモリ(最後の設定状態記憶メモリ) ON/OFF の選択	→ 31
外部同期信号入力 ON/OFF の選択	→ 31
2～9 面マルチ画面 の設定	→ 28
ピクチャ・イン・ピクチャ 子画面表示位置、サイズ の調整	→ 30
外部コントロールコマンド(RS-232C で周辺機器を制御)最大 10 メモリ の登録 / 呼出	→ 28
RS-232C からの外部通信制御	→ 33

#### ※ RGB 入力のスキャンコンバートについて

RGB 入力画像の検出モードは AUTO DETECT、FIXED の 2 種類があり、メニューで選択できます。→23 ページ

**AUTO DETECT** は RGB 入力画像を常に監視し、入力の変化を自動的に検出するモードです。

入力画像の変化を検出するとその入力画像に適切な画像位置、サイズで表示します。

**FIXED** は現在の RGB 入力画像を固定とし、入力の変化を検出しません。

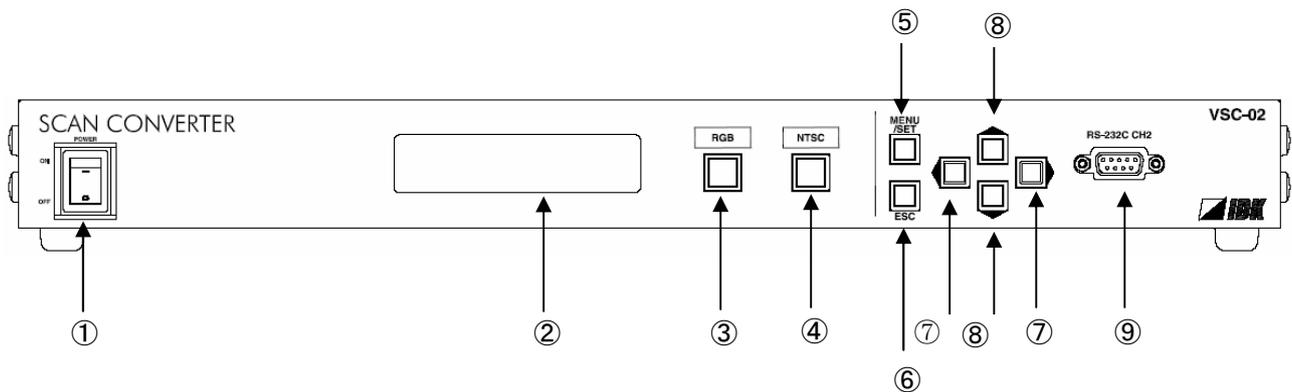
このモードで入力画像が変化した場合は画像が乱れて表示されます。

RGB 入力画像を検出すると、自動的にその入力画像情報を内部メモリに記憶します。

一度検出したことのある入力画像をのちに再び検出した場合は、内部メモリからその入力画像情報を呼び出して画像位置、サイズを設定します。

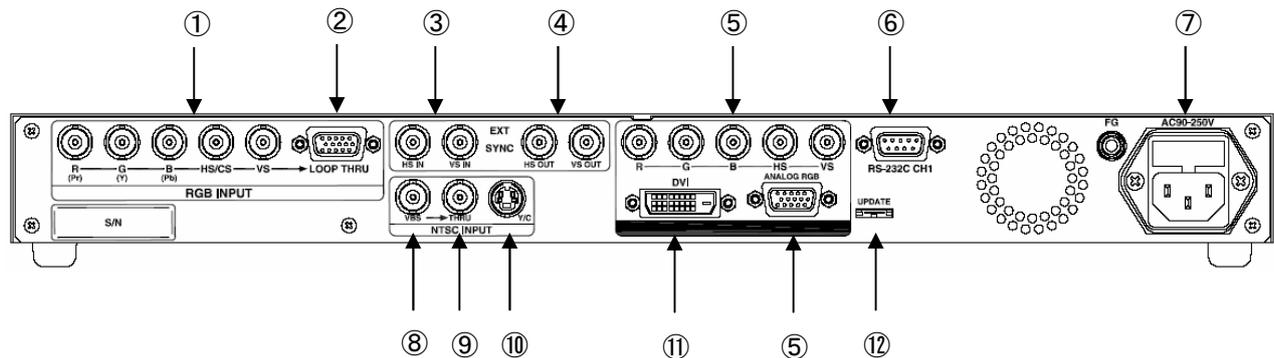
入力画像情報は 128 パターンまで自動的に記憶し、その後に新しい情報を検知すると、記憶済みの 128 パターンの中から一番使用頻度の低いものから自動的に削除されます。

## 4. フロントパネルの説明



- ① **電源スイッチ (POWER)**  
機器本体の電源を 入/切 します。
- ② **蛍光表示管**  
各種メニューを表示します。
- ③ **RGB 入力選択キー**  
RGB 入力をスキャンコンバートした映像が出力されます。(出荷時は XGA にスキャンコンバートされます。)
- ④ **NTSC 入力選択キー**  
NTSC 入力をアップコンバートした映像が出力されます。(出荷時は XGA にアップコンバートされます。)
- ⑤ **メニュー表示/決定キー (MENU/SET) → 17 ページ**  
各種メニューを蛍光表示管に表示します。  
又メニュー決定の時に使用します。
- ⑥ **キャンセルキー (ESC)**  
各種メニューの設定を終了します。  
又、約 5 秒間押し続けることによりキー操作ロック/解除を選択します。
- ⑦ **数値設定キー(・、・)**  
各種メニュー設定時の数値変更をします。
- ⑧ **メニューページ切換キー (▲、▼) → 17 ページ**  
各種メニュー設定時のカーソル移動、ページ切り換えをします。
- ⑨ **RS-232C コネクタ (RS-232C CH2)**  
通信コマンドによる本器への外部制御を行う場合に使用します。  
※ 通信コマンドによる本器への外部制御を行う場合、RS-232C 機器背面の CH1 と CH2 の同時使用も可能です。

## 5. リアパネルの説明



### ① RGB 映像入力コネクタ (ANALOG RGB)

RGB アナログビデオ信号を入力します。

### ② RGB 映像ループスルーコネクタ (LOOP THRU)

①の映像をスルー出力します、VSC-02 の電源を切っても出力されます。

### ③ 外部同期入力コネクタ (HS IN/VS IN)

外部同期機能を使用する時に外部機器からの H SYNC 信号(TTL レベル)及び V SYNC 信号(TTL レベル)を入力します。

### ④ 外部同期ループスルーコネクタ (HS OUT/VS OUT)

③の外部同期をスルー出力します。

### ⑤ RGB アナログ映像出力コネクタ (ANALOG RGB)

スキャンコンバートされた映像を出力します。

### ⑥ RS-232C コネクタ (RS-232C CH1)

通信コマンドによる外部制御を行う場合に使用します。

※ 通信コマンドによる外部制御を行う場合、RS-232C CH1 と機器前面の CH2 の同時使用も可能です。

### ⑦ 電源コネクタ

AC90～250V

### ⑧ NTSC 映像入力コネクタ (VBS)

NTSC コンポジットビデオ信号を入力します。

### ⑨ NTSC 映像ループスルーコネクタ (LOOP THRU)

⑧の映像をスルー出力します。

VSC-02 の電源を切っても出力されます。

### ⑩ NTSC 映像入力コネクタ (Y/C)

NTSC ビデオ信号を入力します。

### ⑪ RGB デジタル映像出力コネクタ (DVI)

スキャンコンバートされた映像を出力します。

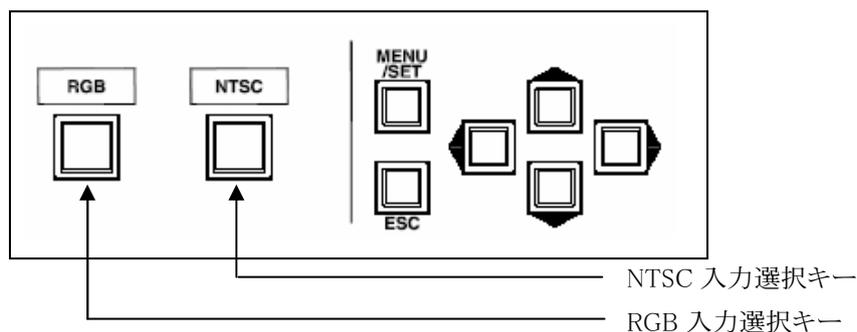
⑫ 保守用コネクタ (UPDATE)

未使用。

このコネクタには何も接続しないでください。

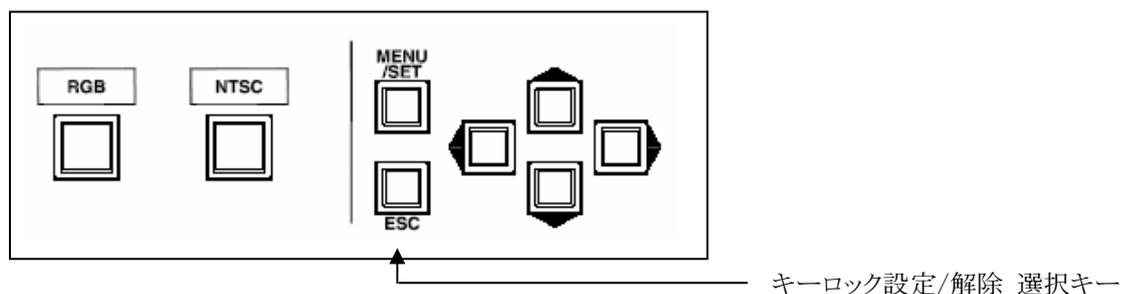
## 6. 操作方法

### 6-1. 入力チャンネルの選択操作



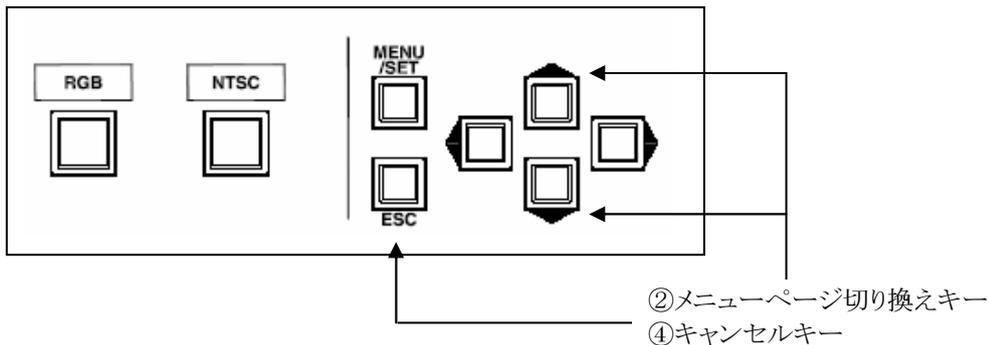
RGB 映像出力(OUTPUT コネクタ)に対する入力ソースを入力チャンネル選択キーで選択してください。  
 RGB(RGB 入力)を選択した場合、スキャンコンバート(VGA~SXGA+)された映像が出力されます。  
 NTSC(NTSC 入力)を選択した場合、アップコンバート(VGA~SXGA+)された映像が出力されます。  
 選択中のキー(LED が点灯しているキー)を押すと映像が OFF(無選択)になります

### 6-2. キーロック設定/解除の選択操作



約 5 秒間押し続けることによりキー操作ロック設定/ロック解除を選択してください。  
 キーロック設定時(フロントキーはロックされます)……蛍光表示管に LOCK と表示されます  
 キーロック解除時(フロントキーは自由に使用できます)

## 6-3. 各種メニューの表示操作



- ① MENU/SET キーを押すと蛍光表示管にメニューが表示されます。  
(MENU/SET キーが点滅します)
- ② ▲▼キーを押すとメニューページが切り換わります。
- ③ 希望するメニューで MENU/SET キーを押すと決定されます。  
その後の操作は「6-3-1.プリセットメモリの呼出/登録」～「6-3-10.その他設定(ラストメモリ、ブザー、外部同期、フェードアウト・イン、ブルーバック、終端、バージョン)」を参照してください。
- ④ メニュー表示をキャンセルする場合は ESC キーを押してください。

## メニューの一覧

[FUNCTION SELECT] PRESET MEMORY ◇ ▲ ▼ キー	プリセットメモリの呼出/登録 → 18 ページ
[FUNCTION SELECT] NTSC ADJUST ◇ ▲ ▼ キー	NTSC 入力画像調整 → 18 ページ
[FUNCTION SELECT] OUTPUT TIMING ◇ ▲ ▼ キー	RGB コンバート出力画像調整(VGA～SXGA+、サイズ、ポジション、内蔵テストパターン) → 21 ページ
[FUNCTION SELECT] INPUT TIMING ADJUST ◇ ▲ ▼ キー	RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整) → 23 ページ
[FUNCTION SELECT] INPUT TIMING EDIT ◇ ▲ ▼ キー	RGB 入力タイミング編集 → 25 ページ
[FUNCTION SELECT] EXTCTRL EXECUTE ◇ ▲ ▼ キー	外部コントロールコマンド実行 → 28 ページ
[FUNCTION SELECT] EXTCTRL EDIT ◇ ▲ ▼ キー	外部コントロールコマンド作成・編集 → 27 ページ
[FUNCTION SELECT] MULTI DISPLAY ◇ ▲ ▼ キー	マルチ画面設定 → 28 ページ

▲ ▼ キー

[FUNCTION SELECT]
PICTURE IN PICTURE ◇

ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整 → 30 ページ

▲ ▼ キー

[FUNCTION SELECT]
ETC ◇

(ラストメモリ、ブザー、外部同期、フェードアウト・イン、ブルーバック、  
終端、バージョン) → 31 ページ

### 6-3-1. プリセットメモリの呼出/登録

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。

[FUNCTION SELECT]
PRESET MEMORY ◇

プリセットメモリの呼出/登録

- ② プリセットメモリの登録で現在設定されている以下の項目をメモリに記憶します。

- ・入力チャンネル選択
- ・NTSC 入力ソース選択
- ・RGB コンバート出力画像調整値
- ・色調整値・輝度調整値 (インテンシティ、サチュレーション、HUE)
- ・台形補正值
- ・マルチディスプレイ設定値
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

[PRESET MEMORY LOAD]
1 ◇

プリセットメモリ呼出 (1~4)

▲ ▼ キー

[PRESET MEMORY SAVE]
1 ◇

プリセットメモリ登録 (1~4)

◀キー、▶キーでメモリ番号を選択後、MENU/SET キーを押すと呼出、又は登録されます。

- ③ 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

### 6-3-2. NTSC 入力画像調整

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。◀ ▶キーで各項目の選択、または調整値を設定してください。

[FUNCTION SELECT]
NTSC ADJUST ◇

NTSC 入力画像調整

MENU/SET キー

[NTSC SOURCE]
VBS ◇

NTSC 入力ソース (◀ ▶キー : VBS, Y/C, TEST (内蔵カラーパターン))

▲ ▼ キー

[NTSC INPUT MODE]
VCR ◇

NTSC 入力モード (VCR, MIXED, TERRESTRIAL) →20 ページ

▲ ▼ キー

[NTSC OUT ASPECT]
STANDARD ◇

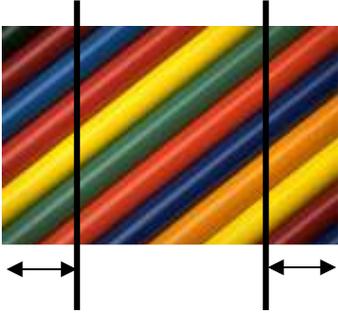
NTSC 入力アスペクト比 (STANDARD, SQUEEZE)

▲ ▼ キー

▲ ▼ キー	[MASK TOP & BOTTOM] 0 MIN ◇	NTSC 入力画像 V (縦方向) サイズ調整 (0~50 ライン)
▲ ▼ キー	[MASK LEFT & RIGHT] 0 MIN ◇	NTSC 入力画像 H (横方向) サイズ調整 (0~50 ドット) ※2 ドット単位での調整となります。
▲ ▼ キー	[NTSC INTENSITY] + 0 ◇	インテンシティ (輝度) 調整 (-10~+10)
▲ ▼ キー	[NTSC SATURATION] + 0 ◇	サチュレーション (彩度) 調整 (-10~+10)
▲ ▼ キー	[NTSC HUE] 0 MIN ◇	HUE 調整 (0~360 度)
▲ ▼ キー	[NTSC CONTRAST] RGB:+ 2 ◇	コントラスト RGB 調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[NTSC CONTRAST RGB] R:+ 2 G:+ 2 B:+ 2 ◇	コントラスト RGB 個別調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[NTSC BRIGHTNESS] + 0 ◇	ブライツネス調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[NTSC GAMMA] +0 NORMAL ◇	ガンマ補正 (-4~+4)
▲ ▼ キー	[NTSC INPUT FILTER] + 0 NORMAL ◇	入力フィルター調整 (-10~+10)
▲ ▼ キー	[NTSC OUTPUT FILTER] + 0 NORMAL ◇	出力フィルター調整 (-10~+10)

② 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

NTSC 入力ソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VBS</li> <li>• Y/C</li> <li>• TEST(内蔵カラーパターン)</li> </ul>
------------	---

NTSC 入力モード	<p>ビデオテープ再生時に発生するノイズをカットするときに有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VCR : ビデオカセットレコーダーモード (デフォルト)</li> <li>・TERRESTRIAL : 地上波モード</li> <li>・MIXED : 混合モード</li> </ul> <p>通常は VCR を選択してください。 コピーガード信号の混入等の理由で、画面が小刻みに振動したり、白い矩形ノイズが表示される場合があります。その際、このモードを変更してください。</p>
NTSC 入力アスペクト比	<p>本機に入力される映像の縦横比に応じて設定することにより、アスペクト比が復元されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・STANDARD (4:3)</li> <li>・SQUEEZE (16:9)</li> </ul>
<p>入力画像 V (縦方向) サイズ</p> <p><b>※ ビデオテープ再生時に発生する上下左右のノイズをカットする時に有効です。</b></p>	<p style="text-align: center;">入力画像</p>  <p style="text-align: center;">NTSC 入力画像の上下を設定されたライン数カットします</p>
<p>入力画像 H (横方向) サイズ</p> <p><b>※ ビデオテープ再生時に発生する上下左右のノイズをカットする時に有効です。</b></p>	<p style="text-align: center;">入力画像</p>  <p style="text-align: center;">NTSC 入力画像の左右を設定されたドット数カットします</p> <p>※2 ドット単位での調整となります。</p>
ガンマ補正	<p>ガンマ補正=-4~-1 . . . . . 暗さ強調</p> <p>ガンマ補正=0 . . . . . 補正なし</p> <p>ガンマ補正=+1~+4 . . . . . 明るさ強調</p>
フィルター	<p>フィルター=-10~-1 . . . . . フィルター弱、輪郭がソフトな画像</p> <p>フィルター=0 . . . . . フィルターなし</p> <p>フィルター=+1~+10 . . . . . フィルター強、輪郭がシャープな画像</p>

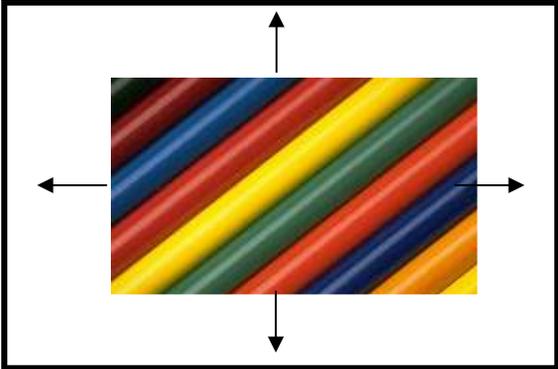
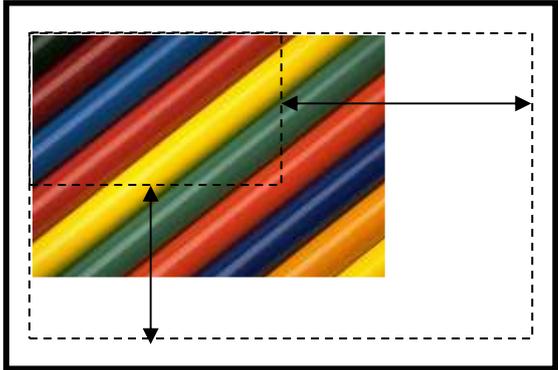
### 6-3-3. RGB コンバート出力画像調整 (VGA～SXGA+、サイズ、ポジション、内蔵テストパターン)

① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。

◀ ▶キーで各項目の設定後、MENU/SET キーを押すとデータが保存されます。

[FUNCTION SELECT] OUTPUT TIMING ◊	RGB コンバート出力画像調整 (VGA～SXGA+、サイズ、ポジション、他)
MENU/SET キー	
[OUT TIMING] No. 02 XGA V:60 ◊	RGB コンバート出力信号選択 (◀ ▶キー : VGA～SXGA+)
▲ ▼ キー	
[OUT H POSITION] + 0 DOT ◊	出力画像 H (横方向) 表示位置調整 (-98～+98 ドット)
▲ ▼ キー ※2 ドット単位での調整となります。	
[OUT H SIZE] + 0 DOT ◊	出力画像 H (横方向) 表示サイズ調整 (-98～+98 ドット)
▲ ▼ キー ※2 ドット単位での調整となります。	
[OUT V POSITION] + 0 LINE ◊	出力画像 V (縦方向) 表示位置調整 (-99～+99 ライン)
▲ ▼ キー	
[OUT V SIZE] + 0 LINE ◊	出力画像 V (縦方向) 表示サイズ調整 (-99～+99 ライン)
▲ ▼ キー	
[OUT TEST PATTERN] OFF ◊	テストパターン/タイトルテロップの選択 (OFF～8COLOR & 16STEP GRAY)
▲ ▼ キー	
[OUT FONT SIZE] SIZE : 1 ◊	タイトルテロップの表示サイズ (1～2)
▲ ▼ キー	
[OUT FONT POSITION] LOCATE : 1 ◊	タイトルテロップの表示位置 (1～5)
▲ ▼ キー	
[OUT FONT COLOR] COLOR: WHITE ◊	タイトルテロップの表示色 (WHITE～PURPLE)
▲ ▼ キー	
[OUT FONT DATA] 'OUTPUT' ◊	タイトルテロップの表示文字 (記号、数字、英大文字、英小文字 最大 10 文字)
▲ ▼ キー	
[OUT DVI PHASE] 4 ◊	DVI 出力調整 (0～7)
▲ ▼ キー	
[OUT KEYSTONE] OFF ◊	台形補正 (-12～OFF～+12)

② 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

<p>RGB コンバート出力信号</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No. 00 VGA 59Hz 640x480 (4:3)</li> <li>• No. 01 SVGA 60Hz 800x600 (4:3)</li> <li>• No. 02 XGA 60Hz 1024x768 (4:3)</li> <li>• No. 03 WXGA 60Hz 1360x768 (16:9)</li> <li>• No. 04 QVGA 60Hz 1280x960 (4:3)</li> <li>• No. 05 SXGA 60Hz 1280x1024 (5:4)</li> <li>• No. 06 SXGA+ 60Hz 1400x1050 (4:3)</li> <li>• No. 07 XGA (OV-MP) 60Hz 1024x768 (4:3)</li> <li>• No. 08 XGA (DG) 60Hz 1024x768 (4:3)</li> <li>• No. 09 SXGA (cDR67) 60Hz 1280x1024 (5:4)</li> <li>• No. 10 SXGA+ (DR+) 60Hz 1400x1050 (4:3)</li> <li>• No. 11 XGA (調整用) 60Hz 1024x768 (4:3)</li> </ul> <p>※No. 00-No. 06 は VESA 規格準拠です。</p>
<p>出力画像 H (横方向) / V (縦方向) 表示位置</p> <p>※ <u>表示する機器(LCD、PDP 等)によっては出力表示位置をマイナス方向に移動させすぎると画像が暗くなったり、映らなくなる場合があります。</u></p> <p>※ <u>DVI 出力画像は表示位置を移動させる事ができません。</u></p> <p>※ <u>V (縦方向) 表示位置調整の調整可能範囲は RGB コンバート出力信号により変化します。</u></p>	<p style="text-align: center;">出力画像</p>  <p>※横方向の位置調整は 2 ドット単位となります。</p>
<p>出力画像 H (横方向) / V (縦方向) 表示サイズ</p>	<p style="text-align: center;">出力画像</p>  <p>※横方向のサイズ調整は 2 ドット単位となります。</p>

テストパターン/タイトルテロップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストパターン OFF</li> <li>・1 ドットおき縦縞 (VERTICAL STRIPES)</li> <li>・クロスハッチ (CROSSHATCH)</li> <li>・白ラスター (WHITE RASTER)</li> <li>・赤ラスター (RED RASTER)</li> <li>・緑ラスター (GREEN RASTER)</li> <li>・青ラスター (BLUE RASTER)</li> <li>・タイトルテロップ (FONT)</li> <li>・カラーバー (COLOR BAR)</li> <li>・16 ステップグレー (16STEP GRAY)</li> <li>・8 カラーバー&amp;16 ステップグレー (8COLOR &amp; 16STEP GRAY)</li> </ul> <p>※ 1 ドットおき縦縞 (VERTICAL STRIPES)、クロスハッチ (CROSSHATCH)、タイトルテロップ (FONT) は入力映像と重ね合わせて表示することができます</p>
タイトルテロップの表示位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示位置=左上 (LOCATE=1)</li> <li>・表示位置=右上 (LOCATE=2)</li> <li>・表示位置=中央 (LOCATE=3)</li> <li>・表示位置=左下 (LOCATE=4)</li> <li>・表示位置=右下 (LOCATE=5)</li> </ul>
タイトルテロップの表示色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字色=白 (COLOR:WHITE)</li> <li>・文字色=黒 (COLOR:BLACK)</li> <li>・文字色=赤 (COLOR:RED)</li> <li>・文字色=緑 (COLOR:GREEN)</li> <li>・文字色=青 (COLOR:BLUE)</li> <li>・文字色=黄 (COLOR:YELLOW)</li> <li>・文字色=水色 (COLOR:LIGHT BLUE)</li> <li>・文字色=紫 (COLOR:PURPLE)</li> </ul>
タイトルテロップの表示文字	文字=英数字 10 文字まで表示することができます
台形補正	<p>台形補正=-12~-1      台形補正=OFF      台形補正=+1~+12</p> 

#### 6-3-4. RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)

① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。

◀ ▶キーで各項目の選択、または調整値を設定してください。

[FUNCTION SELECT]

INPUT TIMING ADJUST ◊

MENU/SET キー

RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)

[RGB SIGNAL]

001:XGA V:60 AT ◊

▲ ▼ キー

RGB 入力検出モードの選択(◀ ▶キー AT~FX)

[RGB H POSITION]

+ 0 DOT ◊

▲ ▼ キー

RGB 入力画像 H (横方向) 入力位置調整 (-600~+600 ドット)

※2 ドット単位の調整となります。

▲ ▼ キー	[RGB H SIZE] + 0 (1024) DOT ◇	RGB 入力画像 H (横方向) 入力サイズ調整 (◀ ▶キー -600~+600 ドット) ※2 ドット単位の調整となります。
▲ ▼ キー	[RGB V POSITION] + 0 LINE ◇	RGB 入力画像 V (縦方向) 入力位置調整 (-600~+600 ライン)
▲ ▼ キー	[RGB V SIZE] + 0 ( 768) LINE ◇	RGB 入力画像 V (縦方向) 入力サイズ調整 (-600~+600 ライン)
▲ ▼ キー	[RGB PHASE] 0 MIN ◇	RGB 入力画像サンプリングフェーズ調整 (0~31)
▲ ▼ キー	[RGB CLOCK] + 0 ◇	RGB 入力画像クロック数調整
▲ ▼ キー	[RGB COLOR FORMAT] RGB ◇	RGB 入力カラー変換モード調整 (RGB, YPbPr)
▲ ▼ キー	[RGB OUT ASPECT] STANDARD ◇	出力アスペクト比の選択 (STANDARD, SQUEEZE)
▲ ▼ キー	[RGB CONTRAST] RGB:+ 0 ◇	コントラスト RGB 調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[RGB CONTRAST RGB] R:+ 0 G:+ 0 B:+ 0 ◇	コントラスト RGB 個別調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[RGB BRIGHTNESS] + 0 ◇	ブライツネス調整 (-20~+20)
▲ ▼ キー	[RGB GAMMA] +0 NORMAL ◇	ガンマ補正 (-4~+4)
▲ ▼ キー	[RGB INPUT FILTER] + 0 NORMAL ◇	入力フィルター調整 (-10~+10)

② 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

RGB 入力検出モード	<b>AT</b> : RGB 入力の解像度を自動検出し、RGB 入力に変化があった場合は自動的に適切な画像位置、サイズに調整して表示します。 <b>FX</b> : 現在の RGB 入力を固定とし自動検出を行いません。
-------------	---

スキャンコンバートした画像の調整手順	① 画像に縦縞が出る場合、[RGB CLOCK]を調整して縦縞を取り除いてください。 ② 画像にちらつきが出る場合、[RGB PHASE]を調整してちらつきを取り除いてください。 ③ 画像の左端が表示されない場合、[RGB H POSITION]を調整して左端が表示されるようにしてください。 ④ 画像の右端が表示されない場合、[RGB H SIZE]を調整して右端が表示されるようにしてください。 ⑤ 画像の上端が表示されない場合、[RGB V POSITION]を調整して上端が表示されるようにしてください。 ⑥ 画像の下端が表示されない場合、[RGB V SIZE]を調整して下端が表示されるようにしてください。
ガンマ補正	ガンマ補正=-4~-1 . . . . . 暗さ強調 ガンマ補正=0 . . . . . 補正なし ガンマ補正=+1~+4 . . . . . 明るさ強調
フィルター	フィルター=-10~-1 . . . . . フィルター弱、輪郭がソフトな画像 フィルター=0 . . . . . フィルターなし フィルター=+1~+10 . . . . . フィルター強、輪郭がシャープな画像

※ 一度調整をした RGB 入力画像調整値は内部に記憶されます、再度同じ RGB 入力画像が入力された場合には記憶されている調整値で画像を表示します。(128 種類まで記憶できます)

※ H POSITION、V POSITION、H SIZE、V SIZE、CLOCK を移動させすぎると画像が表示されなくなる場合もあります。

### 6-3-5. RGB 入力タイミング編集

① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。

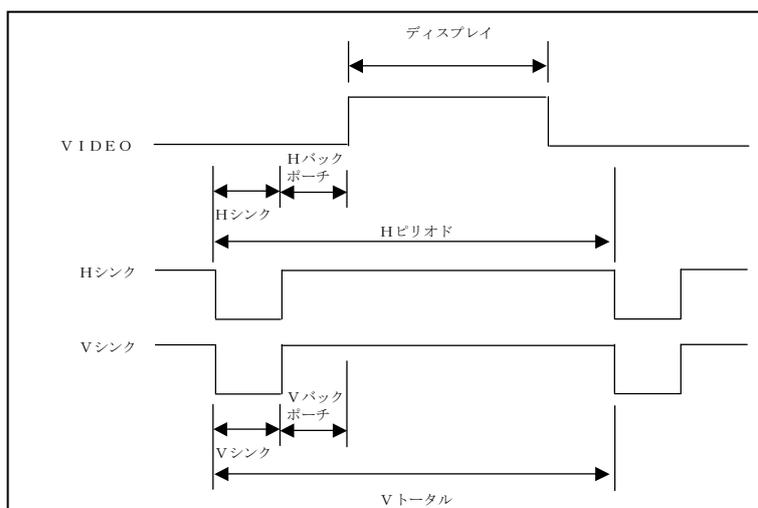
◀ ▶キーで各項目の設定後、MENU/SET キーを押すとデータが保存されます。

[FUNCTION SELECT] INPUT TIMING EDIT ◊	RGB 入力タイミング編集
MENU/SET キー	
[EDIT NUMBER] 001:[XGA V:60] ◊	RGB 入力タイミングの選択 (◀ ▶キー 1~128)
▲ ▼ キー	
[EDIT DOTCLOCK] 065.00MHz ◊	ドットクロック変更 (10.00~299.99)
▲ ▼ キー	
[EDIT H INPUT MODE] DOT ◊	水平方向タイミング入力モード選択 (ドット/時間)
▲ ▼ キー	
[EDIT H PERIOD] 20.67uS 1344DOT ◊	H ピリオド入力 (150~2550)
▲ ▼ キー	
[EDIT H DISP] 20.67uS 1344DOT ◊	H ディスプレイ入力 (150~2047)
▲ ▼ キー	
[EDIT H SYNC] 02.09uS 0136DOT ◊	H シンク入力 (16~2047)
▲ ▼ キー	

▲ ▼ キー	[EDIT H BACK PORCH] 02.46uS 0160DOT ◇	H バックポーチ入力 (◀ ▶キー 0~2047)
▲ ▼ キー	[EDIT V INPUT MODE] LINE ◇	垂直方向タイミング入力モード選択 (ライン/時間)
▲ ▼ キー	[EDIT V TOTAL] 16.66mS 0806LINE ◇	V トータル入力 (150~2550)
▲ ▼ キー	[EDIT V DISP] 12.09mS 0768LINE ◇	V ディスプレイ入力 (150~2047)
▲ ▼ キー	[EDIT V SYNC] 00.01mS 0006LINE ◇	V シンク入力 (16~2047)
▲ ▼ キー	[EDIT V BACK PORCH] 00.07mS 0029LINE ◇	V バックポーチ入力 (0~2047)
▲ ▼ キー	[EDIT TIMING NAME] 001:[XGA V:60] ◇	RGB 入力タイミング名の編集
▲ ▼ キー	[EDIT TIMING COPY] SRC:001 > DST:002 ◇	入力タイミングの複製元選択 MENU/SET キーを押すと複製を実行します。
▲ ▼ キー	[EDIT TIMING COPY] SRC:001 > DST:002 ◇	入力タイミングの複製先選択 MENU/SET キーを押すと複製を実行します。

② 終了する場合はESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

※ 水平方向タイミング入力モードが「時間」の場合にドット数を変更した場合はタイミング時間を維持したままドットクロックを変化させます。



### 6-3-6. 外部コントロールコマンド作成・編集

① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。◀キー、▶キーで各データ設定後、MENU/SET キーを押すと登録されます。

[FUNCTION SELECT] EXTCTRL EDIT ◊	外部コントロールコマンド作成・編集
MENU/SET キー	
[EXTCTRL EDIT NO] No. 01 [      ] ◊	外部コントロールコマンド選択 (◀ ▶キー 1~10)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT BYTE] 00BYTE ◊	データ数 (01~30、00 はデータ未登録扱いとなります)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT MEMO] MEMO: [      ] ◊	コメント文字(10 文字)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT PORT] CH: 1 BPS: 9600 ◊	ポート番号(1~2)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT BPS] CH: 1 BPS: 9600 ◊	通信速度 (9600~38400)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT MODE] MODE: 8BIT NONE 1 ◊	通信モード(8BIT NONE 1~ 7BIT EVEN 2)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 1/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 1 バイト目~5 バイト目 (00~FF)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 2/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 6 バイト目~10 バイト目 (00~FF)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 3/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 11 バイト目~15 バイト目 (00~FF)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 4/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 16 バイト目~20 バイト目 (00~FF)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 5/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 21 バイト目~25 バイト目 (00~FF)
▲ ▼ キー	
[EXTCTRL EDIT DATA] 6/6: 00, 00, 00, 00, 00 ◊	データ 26 バイト目~30 バイト目 (00~FF)

◀キー、▶キーで各データ設定後、MENU/SET キーを押すと登録されます。

② 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

データ数	00=データ未登録とみなされます 01~30=データ 1 バイト目から何バイトを送出するか設定します
コメント文字	外部コントロールコマンドの名前等を入れておくと便利です(10 文字まで)
使用する RS-232C ポート	RS-232C CH1 又は CH2 どちらのポートを使用するか選択します
通信速度	9600bps, 19200bps, 38400bps
RS-232C 通信設定	外部コントロールコマンドを送出する RS-232C 通信設定を選択します データビット、パリティチェック、ストップビットの順に表示されています
データ 1 バイト目~30 バイト目	16 進数の 00~FF で設定します データ 1 バイト目から順に設定してください “データ数” で指定されたバイト数を、データ 1 バイト目から送じます

### 6-3-7. 外部コントロールコマンド実行

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押しください。

[FUNCTION SELECT]

EXTCTRL EXECUTE ◇

外部コントロールコマンド実行

MENU/SET キー

[EXTCTRL EXECUTE]

No. 01 [       ] ◇

外部コントロールコマンド選択 (1~10)

▲ ▼ キーで外部コントロールコマンド番号 (1~10) 選択後、MENU/SET キーを押すと登録されている外部コントロールコマンドを RS-232C CH1 又は CH2 から送じます、接続されている機器からの応答は受信しません。

また、外部コントロールコマンドの実行で使用する通信ポート (RS-232C CH1 又は CH2) は送信専用となり、データ受信はできなくなります。

- ② 終了する場合は ESC キーを押しください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

### 6-3-8. マルチ画面設定

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押しください。◀ ▶キーで各種調整値を設定してください。

[FUNCTION SELECT]

MULTI DISPLAY ◇

マルチディスプレイ設定

MENU/SET キー

[MULTI TYPE]

H: 0 V: 0 ◇

マルチ画面タイプ

▲ ▼ キー

[MULTI POSITION]

H: 1 V: 1 ◇

マルチ画面位置

▲ ▼ キー

[MULTI H POSITION]

+ 0DOT (±1024) ◇

RGB 入力画像 H (横方向) 入力位置調整

▲ ▼ キー

▲ ▼ キー

[MULTI H SIZE]

+ ODOT (±1024) ◇ RGB 入力画像 H (横方向) 入力サイズ調整

▲ ▼ キー

[MULTI V POSITION]

+ OLINE (± 768) ◇ RGB 入力画像 V (縦方向) 入力位置調整

▲ ▼ キー

[MULTI V SIZE]

+ OLINE (± 768) ◇ RGB 入力画像 V (縦方向) 入力サイズ調整

② 終了する場合は ESC キーを押してください。メニュー一覧表示(17 ページ)に戻ります。

マルチ画面タイプ、画面位置

マルチ画面タイプで H 画面数を H:1~H:3、V 画面数を V:1~V:3 に設定してください。画面位置で H1~H3、V1~V3 から選択してください。

H 画面位置と V 画面位置

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

例として、マルチ画面タイプ H2、V2 を選択した場合には H1~H2、V1~V2 の画面位置が選択可能になります。

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

マルチ画面の調整手順	<p>① マルチ画面タイプを選択してください。</p> <p>② 画面位置を選択してください。 この時点でおおまかなマルチ画面が表示されます、微調整は以下の③～⑥で行ってください。</p> <p>③ 画像の左端が表示されない場合、[H POSITION]を調整して左端が表示されるようにしてください。</p> <p>④ 画像の右端が表示されない場合、[H SIZE]を調整して右端が表示されるようにしてください。</p> <p>⑤ 画像の上端が表示されない場合、[V POSITION]を調整して上端が表示されるようにしてください。</p> <p>⑥ 画像の下端が表示されない場合、[V SIZE]を調整して下端が表示されるようにしてください。</p>
------------	--

※ マルチ画面時に外部同期信号を使用する場合については 31 ページを参照してください。

※ 入力位置調整、入力サイズ調整の入力可能範囲は入力映像により変化します。

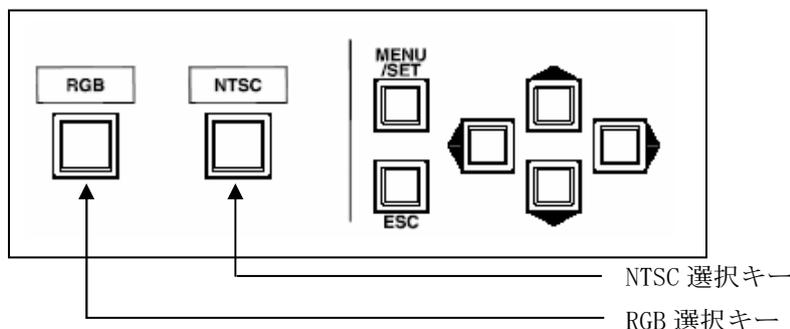
※ 画面位置によっては H POSITION、V POSITION を移動させすぎると画像が表示されなくなる場合もあります。

### 6-3-9. ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。◀キー、▶キーでピクチャ・イン・ピクチャ表示位置・表示サイズを設定してください。

<p>[FUNCTION SELECT] PICTURE IN PICTURE ◊</p> <p>MENU/SET キー</p>	ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定
<p>[PinP H POSITION] 1DOT ( 1023) ◊</p> <p>▲ ▼ キー</p>	子画面 H (横方向) 表示位置調整 (+1 ドット～出力画面サイズ)
<p>[PinP V POSITION] 1LINE ( 767) ◊</p> <p>▲ ▼ キー</p>	子画面 V (縦方向) 表示位置調整 (+1 ライン～出力画面サイズ)
<p>[PinP SIZE] H: 320 V: 240 H&amp;V ◊</p>	子画面 H, V 表示サイズ調整 (32～出力画面サイズ)、サイズ調整モード

ピクチャ・イン・ピクチャ入力ソースの選択は本メニューを表示させた状態で入力チャンネル選択キーで選択できます。



選択中のキー(LED が点灯しているキー)を押すと OFF(無選択)になります

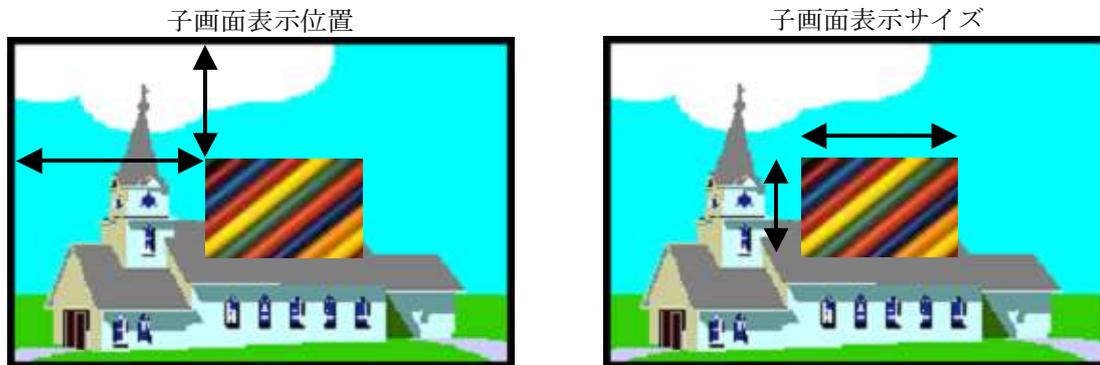
サイズ調整モードを H&V にすると、縦横のアスペクト比を保持したまま H、V 連動してサイズを調整します。

サイズ調整モードをH/Vにすると、H、V個別にサイズを調整できます。

※ ピクチャ・イン・ピクチャソースは親画面入力ソースと同じソースを選択できません。

※ ピクチャ・イン・ピクチャ子画面表示位置、表示サイズはNTSC入力とRGB入力共通です。

- ② 終了する場合はESCキーを押してください。メニュー一覧表示(17ページ)に戻ります。



### 6-3-10. その他設定 (ラストメモリ、ブザー、外部同期、フェードアウト・イン、ブルーバック、終端、バージョン)

- ① 「6-3. 各種メニューの表示操作」(17ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押してください。

◀キー、▶キーでON/OFFを設定してください。

[FUNCTION SELECT] ETC ◇	ラストメモリ、ブザー、外部同期、フェードアウト・イン、ブルーバック、終端、バージョン
MENU/SET キー	
[ETC LAST MEMORY] ON ◇	ラストメモリ使用 (ON~OFF)
▲ ▼ キー	
[ETC BUZZER] ON ◇	ブザー使用<キー確認音> (OFF~ON)
▲ ▼ キー	
[ETC EXTERNAL SYNC] OFF ◇	外部同期設定 (OFF~ON)
▲ ▼ キー	
[ETC FADE OUT-IN] OFF ◇	フェードアウト・フェードイン (OFF~ON)
▲ ▼ キー	
[ETC BLUE BACK] OFF ◇	ブルーバック (OFF~ON)
▲ ▼ キー	
[ETC SYNC TERMINATE] OFF ◇	75Ω終端抵抗 (OFF~ON)
▲ ▼ キー	
[ETC VERSION] VSC-02 x.xxRx ◇	バージョン情報

- ② 終了する場合はESCキーを押してください。メニュー一覧表示(17ページ)に戻ります。

※ ラストメモリ使用をONにすると電源OFF前の状態を記憶し、次回電源ON時には記憶されている設定状態で立ち上がります。

記憶される設定項目

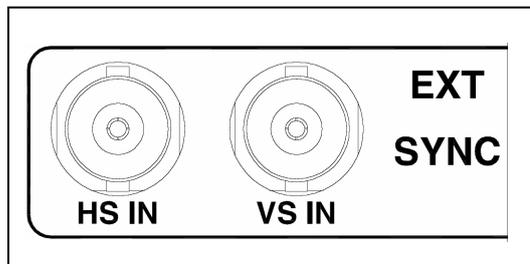
- ・入力チャンネル選択
- ・NTSC 入力ソース選択
- ・RGB コンバート出力画像調整値
- ・色調整値・輝度調整値(インテンシティ、サチュレーション、HUE)
- ・台形補正值
- ・マルチディスプレイ設定値
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

※ フェードアウト・フェードイン機能は、「6-1. 入力チャンネルの選択操作」に於いて入力ソースの変更時に機能します。

※ 外部同期機能を使用する時は EXT SYNC 入力の HS IN/VS IN 端子に、外部機器からの H SYNC 信号(TTL レベル)、V SYNC 信号(TTL レベル)を入力してください。

必ず先に H SYNC/V SYNC 信号を入力してから[ETC EXTERNAL SYNC]メニューを ON にしてください。

[ETC EXTERNAL SYNC]メニューを ON にした状態で H SYNC/V SYNC 信号が入力されていない場合はエラーメッセージが表示され、自動的に外部同期機能は OFF(内部同期で動作)になります。



EXTERNAL SYNC ERROR  
PUSH ESC KEY

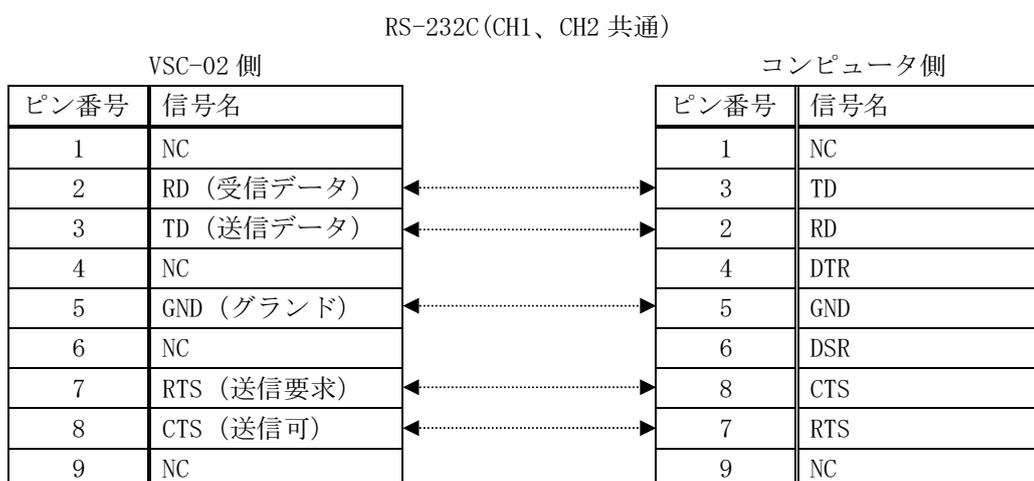
H SYNC/V SYNC 信号が入力されていない場合のエラーメッセージ

## 7. 通信制御コマンド

### 7-1. 通信フォーマット

RS-232C 通信フォーマット (CH1、CH2 共通)	
ボーレート	9600bps
データビット長	8 ビット
ストップビット長	1 ビット
パリティチェック	なし
X パラメータ	無効
デリミタ	CR+LF (HEX コードの 0Dh と 0Ah)
通信方式	全二重

### 7-2. コネクタ、ケーブル仕様



※ RS-232C クロスケーブルを使用してください。

### 7-3. 制御コマンドフォーマット

- 基本フォーマット コマンド+パラメータの場合

@コマンド	,	パラメータ 1	,	パラメータ 2	,	.....	,	パラメータ X	デリミタ
-------	---	---------	---	---------	---	-------	---	---------	------

- 基本フォーマット コマンドだけの場合

@コマンド	デリミタ
-------	------

- コマンドは@+アスキー文字3バイトで表します。

【例】 @SNS

- パラメータはコマンドの後から‘,’ (2Ch)で区切って送信します。

【例】 コマンド, 1, 5, 2, 6

- デリミタは CR+LF(0Dh 0Ah)を使用します。

【例】 コマンド, パラメータ 1, パラメータ 2, パラメータ 3, パラメータ 4 0Dh 0Ah

- パラメータがない場合は、コマンドのすぐあとに CR+LF(0Dh 0Ah)を送信します。

【例】 コマンド 0Dh 0Ah

### 7-4. 返り値

- VSC-02 からのデータ送信を要求しないコマンドの場合、返り値として送信したコマンドを返します。

【例】 コマンド, パラメータ 0Dh 0Ah       $\longrightarrow$   
 コマンド送信  
 $\longleftarrow$  コマンド, パラメータ 0Dh 0Ah  
 返り値受信

- VSC-02 からのデータ送信を要求するコマンドの場合、返り値として送信したコマンドの後に VSC-02 のデータを追加して返します。

【例】 コマンド, パラメータ 0Dh 0Ah       $\longrightarrow$   
 コマンド送信  
 $\longleftarrow$  コマンド, パラメータ, データ 0Dh 0Ah  
 返り値受信

- コマンド又はパラメータにエラーがある場合、返り値としてエラーステータスを返します。

【例】 コマンド, パラメータ 0Dh 0Ah       $\longrightarrow$   
 コマンド送信  
 $\longleftarrow$  コマンド, エラー番号 0Dh 0Ah  
 返り値受信

- エラーステータス フォーマット

@エラーコマンド	,	エラー番号	デリミタ
----------	---	-------	------

## 7-5. コマンド一覧

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

## チャンネル切換

@IOS	RGB 出力チャンネルを選択します	→ 38 ページ
@GCP	設定されている出力チャンネルを取得します	→ 39 ページ
@SPI	ピクチャインピクチャ チャンネルを選択します	→ 40 ページ
@GPI	設定されているピクチャインピクチャ チャンネルを取得します	→ 41 ページ
@SNS	NTSC 入力ソースを設定します	→ 42 ページ
@GNS	設定されている NTSC 入力ソースを取得します	→ 43 ページ

## メモリ登録/呼出

@SPM	現在の状態をプリセットメモリに登録します	→ 44 ページ
@RPM	登録されているプリセットメモリを呼び出します	→ 44 ページ

## RGB 入力画像調整

@SSC	RGB 入力画像のクロック数調整値を設定します	→ 46 ページ
@GSC	設定されている RGB 入力画像のクロック数調整値を取得します	→ 47 ページ
@SSH	RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を設定します	→ 48 ページ
@GSH	設定されている RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を取得します	→ 49 ページ
@SSS	RGB 入力画像のサイズ調整値を設定します	→ 50 ページ
@GSS	設定されている RGB 入力画像のサイズ調整値を取得します	→ 51 ページ
@SSP	RGB 入力画像のポジション調整値を設定します	→ 52 ページ
@GSP	設定されている RGB 入力画像のポジション調整値を取得します	→ 53 ページ
@SIM	RGB 入力画像の入力検出モードを設定します	→ 54 ページ
@GIM	設定されている RGB 入力画像の入力検出モードを取得します	→ 55 ページ
@SCF	RGB 入力画像のカラー変換モードを設定します	→ 56 ページ
@GCF	設定されている RGB 入力画像のカラー変換モードを取得します	→ 57 ページ

## 出力画像調整

@SOT	出力映像信号 (VGA~SXGA+) を設定します	→ 58 ページ
@GOT	設定されている出力映像信号を取得します	→ 59 ページ
@SAP	出力画像アスペクト比を設定します	→ 60 ページ
@GAP	設定されている出力画像アスペクト比を取得します	→ 61 ページ
@SMS	NTSC 入力画像のマスクを設定します	→ 62 ページ
@GMS	設定されている NTSC 入力画像のマスクを取得します	→ 63 ページ
@SOP	出力画像のポジション調整値を設定します	→ 64 ページ
@GOP	設定されている出力画像のポジション調整値を取得します	→ 65 ページ
@SOS	出力画像のサイズ調整値を設定します	→ 66 ページ
@GOS	設定されている出力画像のサイズ調整値を取得します	→ 67 ページ

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

### 出力調整その他

@SFL	入力/出力フィルタを設定します	→ 68 ページ
@GFL	設定されている入力/出力フィルタを取得します	→ 69 ページ
@SKY	台形補正値を設定します	→ 70 ページ
@GKY	設定されている台形補正値を取得します	→ 71 ページ
@STP	テストパターンを表示します	→ 72 ページ
@GTP	設定されているテストパターンを取得します	→ 73 ページ

### 出力色/輝度調整

@SBR	ブライトを設定します	→ 74 ページ
@GBR	設定されているブライトを取得します	→ 75 ページ
@SCO	RGB コントラストを設定します	→ 76 ページ
@GCO	設定されている RGB コントラストを取得します	→ 77 ページ
@SIT	インテンシティを設定します	→ 78 ページ
@GIT	設定されているインテンシティを取得します	→ 79 ページ
@SST	サチュレーションを設定します	→ 80 ページ
@GST	設定されているサチュレーションを取得します	→ 81 ページ
@SGM	ガンマ補正値を設定します	→ 82 ページ
@GGM	設定されているガンマ補正値を取得します	→ 83 ページ
@SHU	HUE を設定します	→ 84 ページ
@GHU	設定されている HUE を取得します	→ 85 ページ

### ピクチャ・イン・ピクチャ

@SPP	ピクチャ・イン・ピクチャの画像ポジション調整値を設定します	→ 86 ページ
@GPP	設定されているピクチャ・イン・ピクチャの画像ポジション調整値を取得します	→ 87 ページ
@SPS	ピクチャ・イン・ピクチャの画像サイズ調整値を設定します	→ 88 ページ
@GPS	設定されているピクチャ・イン・ピクチャの画像サイズ調整値を取得します	→ 89 ページ

### マルチ画面表示

@SMD	マルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を設定します	→ 90 ページ
@GMD	設定されているマルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を取得します	→ 91 ページ
@SDS	マルチ画面表示の画像サイズ調整値を設定します	→ 92 ページ
@GDS	設定されているマルチ画面表示の画像サイズ調整値を取得します	→ 93 ページ
@SDP	マルチ画面表示の画像ポジション調整値を設定します	→ 94 ページ
@GDP	設定されているマルチ画面表示の画像ポジション調整値を取得します	→ 95 ページ

### 製品バージョン

@GIV	接続されている製品 ID とバージョンを取得します	→ 96 ページ
------	---------------------------	----------

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

### 外部コントロールコマンド

@SEC	外部コントロールコマンドを設定します	→ 97 ページ
@GEC	設定されている外部コントロールコマンドを取得します	→ 100 ページ
@EXC	設定されている外部コントロールコマンドを実行します	→ 103 ページ

### タイトルテロップ

@SFP	タイトルテロップ表示位置/サイズ/色を設定します	→ 103 ページ
@GFP	設定されているタイトルテロップ表示位置/サイズ/色を取得します	→ 104 ページ
@SFD	タイトルテロップ文字を設定します	→ 105 ページ
@GFD	設定されているタイトルテロップ文字を取得します	→ 106 ページ

### エラー一覧

エラーステータス	内容
@ERR, 1	パラメータにエラーがあります →取扱説明書の 7-6 コマンド詳細を確認してください
@ERR, 2	未定義のコマンドです →取扱説明書の 7-5 コマンド一覧を確認してください
@ERR, 4	外部通信コマンドが設定されていません →外部通信コマンドを登録してください
@ERR, 5	本体が MENU 設定中です →本体の ESC キーを押して MENU 設定を終了してください
@ERR, 6	RGB 入力がありません →RGB 入力に映像信号を入力後にコマンドを通信してください
@ERR, 8	入力チャンネルが選択されていません →RGB 入力又は NTSC 入力チャンネルを選択後にコマンドを通信してください

## 7-6. コマンド詳細

## 7-6-1. @IOS (Input/Output Select)

コマンド	@IOS (Input/Output Select)
機能	RGB 出力チャンネルを選択します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
I	49h	
0	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	RGB 出力チャンネル番号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : OFF  
 1 : NTSC  
 2 : RGB

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※関連コマンド @SNS コマンドも参照してください。

**7-6-2. @GCP (Get Cross Point)**

コマンド	@GCP (Get Cross Point)
機能	設定されている出力チャンネルを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	RGB 出力チャンネル番号 [※1]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ピクチャインピクチャ チャンネル番号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : OFF  
 1 : NTSC  
 2 : RGB

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-3. @SPI (Set Picture In picture)**

コマンド	@SPI (Set Picture In picture)
機能	ピクチャインピクチャ チャンネルを選択します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
I	49h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ピクチャインピクチャ チャンネル番号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : OFF  
 1 : NTSC  
 2 : RGB

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ ピクチャインピクチャは NTSC が親画面の場合 RGB を子画面に選択することが可能、又は RGB が親画面の場合 NTSC を子画面に選択することが可能です。  
 NTSC を親画面と子画面両方に選択することはできません、又は RGB を親画面と子画面両方に選択することはできません。

**7-6-4. @GPI (Get Picture In picture)**

コマンド	@GPI (Get Picture In picture)
機能	設定されているピクチャインピクチャ チャンネルを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
I	49h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
I	49h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ピクチャインピクチャ チャンネル番号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0 : OFF  
 1 : NTSC  
 2 : RGB

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-5. @SNS (Set Ntsc Source)**

コマンド	@SNS (Set Ntsc Source)
機能	NTSC 入力ソースを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	NTSC 入力ソース  [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0 : VBS 入力  
 1 : Y/C 入力  
 2 : TEST (内蔵パターン)

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-6. @GNS (Get Ntsc Source)**

コマンド	@GNS (Get Ntsc Source)
機能	設定されている NTSC 入力ソースを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	NTSC 入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0 : VBS 入力  
 1 : Y/C 入力  
 2 : TEST (内蔵パターン)

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-7. @SPM (Store Preset Memory)**

コマンド	@SPM (Store Preset Memory)
機能	現在の設定状態をプリセットメモリに登録します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
1~4	31h~34h	登録するプリセットメモリ番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## ※ プリセットメモリに登録される項目

- ・入力チャンネル選択
- ・NTSC 入力ソース選択
- ・RGB コンバート出力画像調整値
- ・色調整値・輝度調整値 (インテンシティ、サチュレーション、HUE)
- ・台形補正值
- ・マルチディスプレイ設定値
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

**7-6-8. @RPM (Recall Preset Memory)**

コマンド	@RPM (Recall Preset Memory)
機能	登録されているプリセットメモリを呼び出します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
R	52h	
P	50h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
1~4	31h~34h	呼び出すプリセットメモリ番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## ※ プリセットメモリに登録される項目

- ・入力チャンネル選択
- ・NTSC 入力ソース選択
- ・RGB コンバート出力画像調整値
- ・色調整値・輝度調整値(インテンシティ、サチュレーション、HUE)
- ・台形補正值
- ・マルチディスプレイ設定値
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

**7-6-9. @SSC (Set Scanconvert Clock)**

コマンド	@SSC (Set Scanconvert Clock)
機能	RGB 入力画像のクロック数調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
-600~+600	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	クロック数調整値 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] + (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。  
設定できる調整範囲は入力解像度により変化し、範囲外の場合は範囲内に修正されます。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-10. @GSC (Get Scanconvert Clock)**

コマンド	@GSC (Get Scanconvert Clock)
機能	設定されている RGB 入力画像のクロック数調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
C	43h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
-600~+600	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	クロック数調整値 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 調整範囲は入力解像度により変化します。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-11. @SSH (Set scanconvert Sampling pHase)**

コマンド	@SSH (Set scanconvert Sampling pHase)
機能	RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
H	48h	
,	2Ch	区切り
0~31	30h~33h31h	サンプリングフェーズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-12. @GSH (Get scanconvert Sampling pHase)**

コマンド	@GSH (Get scanconvert Sampling pHase)
機能	設定されている RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
H	48h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
H	48h	
,	2Ch	区切り
0~31	30h~33h31h	サンプリングフェーズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-13. @SSS (Set Scanconvert Size)**

コマンド	@SSS (Set Scanconvert Size)
機能	RGB 入力画像のサイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ドット)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	H サイズ調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ライン)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	V サイズ調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。  
設定できる調整範囲は入力解像度により変化し、範囲外の場合は範囲内に修正されます。

[※2] 1 ライン単位で設定

+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-14. @GSS (Get Scanconvert Size)**

コマンド	@GSS (Get Scanconvert Size)
機能	設定されている RGB 入力画像のサイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ドット)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	H サイズ調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ライン)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 調整範囲は入力解像度により変化します。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-15. @SSP (Set Scanconvert Position)**

コマンド	@SSP (Set Scanconvert Position)
機能	RGB 入力画像のポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ドット)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	H ポジション調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ライン)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	V ポジション調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[※2] 1 ライン単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-16. @GSP (Get Scanconvert Position)**

コマンド	@GSP (Get Scanconvert Position)
機能	設定されている RGB 入力画像のポジション調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ドット)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-600~+600 (ライン)	2Dh36h30h30h~ 2Bh36h30h30h	V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-17. @SIM (Set Input Mode)**

コマンド	@SIM (Set Input Mode)
機能	RGB 入力画像の入力検出モードを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
I	49h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	入力検出モード [※1]
,	2Ch	区切り
0~128	30h~31h32h38h	予約データ [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0:RGB 入力自動検出モード・・・RGB 入力信号を自動で検出し RGB 入力信号に変化があった場合、自動的に画像位置、サイズを調整します。

1:RGB 入力固定モード・・・・・・現在の RGB 入力信号を固定とし自動で検出を行いません。

2:予約・・・・・・・・・・・・・・・・弊社調整用です。通常は使用しません。

[※2] RGB 入力固定モードの時に指定します。通常 0 を指定してください。

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-18. @GIM (Get Input Mode)**

コマンド	@GIM (Get Input Mode)
機能	設定されている RGB 入力画像の入力検出モードを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
M	4Dh	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力検出モード [※1]
,	2Ch	区切り
0~128	30h~31h32h38h	予約データ
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0:RGB 入力自動検出モード・・・RGB 入力信号を自動で検出し RGB 入力信号に変化があった場合、自動的に画像位置、サイズを調整します。

1:RGB 入力固定モード・・・現在の RGB 入力信号を固定とし自動で検出を行いません。

2:予約・・・・・・・・・・弊社調整用です。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-19. @SCF (Set Color Format)**

コマンド	@SCF (Set Color Format)
機能	RGB 入力画像のカラー変換モードを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
C	43h	
F	46h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	カラー変換モード [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0:RGB カラーモード  
 1:YPbPr カラーモード  
 出力機器の設定に合わせて設定してください。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-20. @GCF (Get Color Format)**

コマンド	@GCF (Get Color Format)
機能	設定されている RGB 入力画像のカラー変換モードを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
F	46h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
F	46h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	カラー変換モード [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0:RGB カラーモード  
1:YPbPr カラーモード

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-21. @SOT (Set Output Timing)**

コマンド	@SOT (Set Output Timing)
機能	出力映像信号を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
O	4Fh	
T	54h	
,	2Ch	区切り
0~11	30h~31h31h	出力映像信号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1]

0	VGA	59Hz	640x480 (4:3)
1	SVGA	60Hz	800x600 (4:3)
2	XGA	60Hz	1024x768 (5:3)
3	WXGA	60Hz	1360x768 (16:9)
4	QVGA	60Hz	1280x960 (4:3)
5	SXGA	60Hz	1280x1024 (5:4)
6	SXGA+	60Hz	1400x1050 (4:3)
7	XGA	60Hz (OV-MP)	1024x768 (4:3)
8	XGA	60Hz (DG)	1024x768 (4:3)
9	SXGA	60Hz (cDR67)	1280x1024 (5:4)
10	SXGA+	60Hz (DR+)	1400x1050 (4:3)
11	XGA	60Hz (調整用)	1024x768 (4:3)

## ・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-22. @GOT (Get Output Timing)**

コマンド	@GOT (Get Output Timing)
機能	設定されている出力映像信号を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
T	54h	
,	2Ch	区切り
0~11	30h~31h31h	出力映像信号 ※1
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

【※1】

0	VGA	59Hz	640x480 (4:3)
1	SVGA	60Hz	800x600 (4:3)
2	XGA	60Hz	1024x768 (5:3)
3	WXGA	60Hz	1360x768 (16:9)
4	QVGA	60Hz	1280x960 (4:3)
5	SXGA	60Hz	1280x1024 (5:4)
6	SXGA+	60Hz	1400x1050 (4:3)
7	XGA	60Hz (OV-MP)	1024x768 (4:3)
8	XGA	60Hz (DG)	1024x768 (4:3)
9	SXGA	60Hz (cDR67)	1280x1024 (5:4)
10	SXGA+	60Hz (DR+)	1400x1050 (4:3)
11	XGA	60Hz (調整用)	1024x768 (4:3)

- ・ 0-6 は VESA 規格準拠です。
- ・ エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-23. @SAP (Set AsPect)**

コマンド	@SAP (Set AsPect)
機能	出力画像アスペクト比を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
A	41h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	出力画像アスペクト比 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] 0 : 通常  
1 : スクイーズ

・返り値

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-24. @GAP (Get AsPect)**

コマンド	@GAP (Get AsPect)
機能	設定されている出力画像アスペクト比を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
A	41h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
A	41h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	出力画像アスペクト比 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] 0 : 通常  
1 : スクイーズ

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

## 7-6-25. @SMS (Set Mask Size)

コマンド	@SMS (Set Mask Size)
機能	NTSC 入力画像のマスクを設定します

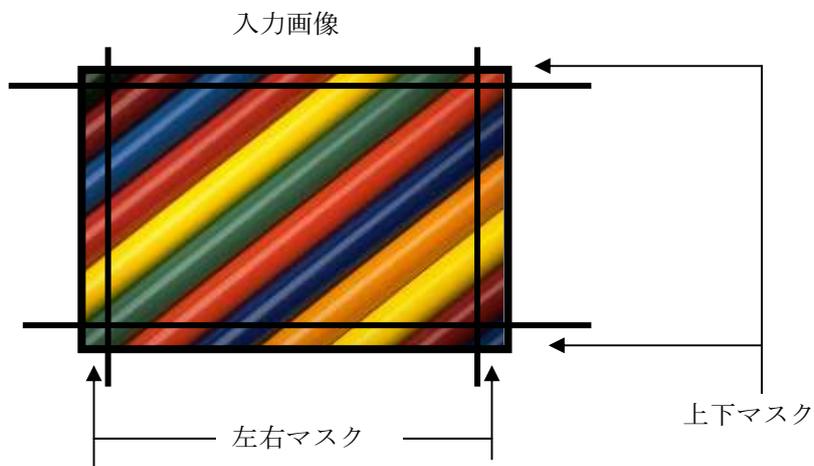
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
M	4Dh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~50 (ライン)	30h~35h30h	入力画像上下マスク ※1
,	2Ch	区切り
0~50 (ドット)	30h~35h30h	入力画像左右マスク ※2
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

※1] 1 ライン単位で設定

※2] 2 ドット単位で設定

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。



入力画像の上下左右を最大 50 ライン/50 ドットまでカットすることができます。ビデオテープ再生時に発生する上下左右のノイズをカットする時に有効です。

**7-6-26. @GMS (Get Mask Size)**

コマンド	@GMS (Get Mask Size)
機能	設定されている入力画像のマスクを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~50 (ライン)	30h~35h30h	出力画像上下マスク
,	2Ch	区切り
0~50 (ドット)	30h~35h30h	出力画像左右マスク
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## 7-6-27. @SOP (Set Output Position)

コマンド	@SOP (Set Output Position)
機能	出力画像のポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
O	4Fh	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-98~+98 (ドット)	2Dh39h38h~2Bh39h38h	出力画像 H ポジション調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-99~+99 (ライン)	2Dh39h39h~2Bh39h39h	出力画像 V ポジション調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[※2] 1 ライン単位で設定

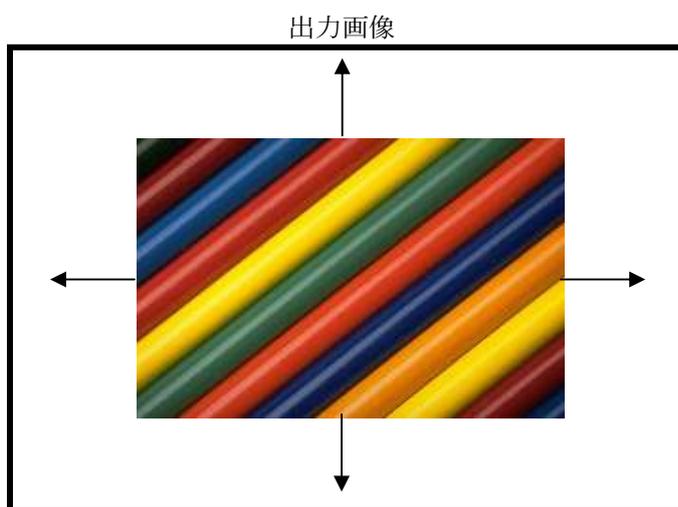
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

V (縦方向) 表示位置調整の調整可能範囲は RGB コンバート出力信号により変化します。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。



出力画像の表示位置を H(横)方向-98~+98ドット、V(縦)方向-99~+99 ラインまで移動することができます。

※ V(縦方向)表示位置調整の調整可能範囲は RGB コンバート出力信号により変化します。

**7-6-28. @GOP (Get Output Position)**

コマンド	@GOP (Get Output Position)
機能	設定されている出力画像のポジション調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-98~+98 (ドット)	2Dh39h38h~2Bh39h38h	出力画像 H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-99~+99 (ライン)	2Dh39h39h~2Bh39h39h	出力画像 V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## 7-6-29. @SOS (Set Output Size)

コマンド	@SOS (Set Output Size)
機能	出力画像のサイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
0	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-98~+98 (ドット)	2Dh39h38h~2Bh39h38h	出力画像 H サイズ調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-99~+99 (ライン)	2Dh39h39h~2Bh39h39h	出力画像 V サイズ調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[※2] 1 ライン単位で設定

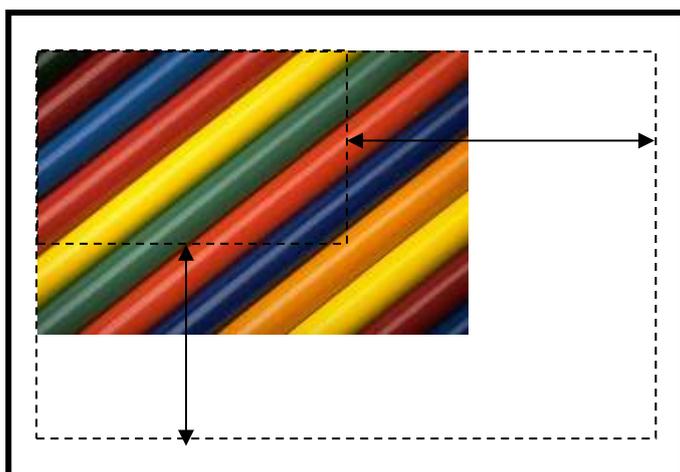
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

出力画像



出力画像の表示サイズを H(横)方向-98~+98 ドット、V(縦)方向-99~+99 ラインまで縮小/拡大することができます。

**7-6-30. @GOS (Get Output Size)**

コマンド	@GOS (Get Output Size)
機能	設定されている出力画像のサイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-98~+98 (ドット)	2Dh39h38h~2Bh39h38h	出力画像 H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
-99~+99 (ライン)	2Dh39h39h~2Bh39h39h	出力画像 V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

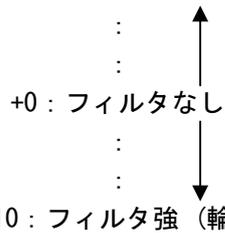
## 7-6-31. @SFL (Set FiLter)

コマンド	@SFL (Set FiLter)
機能	入力/出力フィルタを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
L	4Ch	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	入力フィルタ [※2]
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	出力フィルタ [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] -10 : フィルタ弱 (輪郭がソフトな画像)



※ + (2Bh) は省略可能。例) +8 を指定する場合、2Bh38h 及び 38h どちらでも可。

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

※ 出力フィルタは NTSC 入力画像にのみ有効です。

## 7-6-32. @GFL (Get FiLter)

コマンド	@GFL (Get FiLter)
機能	設定されている入力/出力フィルタを取得します（データ送信要求）

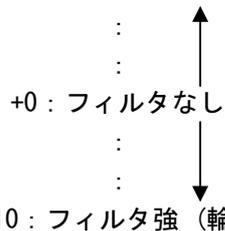
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
L	4Ch	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
L	4Ch	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	入力フィルタ [※2]
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	出力フィルタ [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] -10 : フィルタ弱（輪郭がソフトな画像）



エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-33. @SKY (Set KeYstone)**

コマンド	@SKY (Set KeYstone)
機能	台形補正値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
K	4Bh	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
-12~+12	2Dh31h32h~2Bh31h32h	台形補正値 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] +(2Bh)は省略可能。例)+12を指定する場合、2Bh31h32h及び31h32hどちらでも可。



・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-34. @GKY (Get KeYstone)**

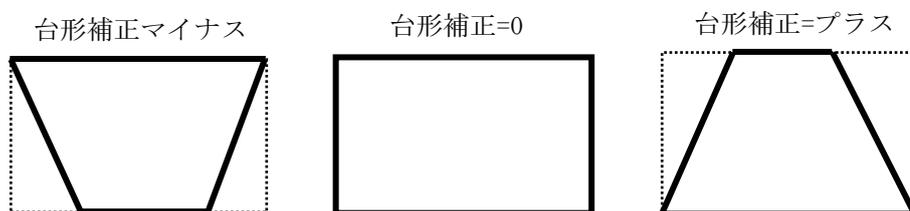
コマンド	@GKY (Get KeYstone)
機能	設定されている台形補正值を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
K	4Bh	
Y	59h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
K	4Bh	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
-12~+12	2Dh31h32h~2Bh31h32h	台形補正值 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1]



エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-35. @STP (Set Test Pattern)**

コマンド	@STP (Set Test Pattern)
機能	テストパターンを表示します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
T	54h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~10	30h~31h30h	テストパターン番号 〔※1〕
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- 〔※1〕 0: テストパターン OFF  
 1: 1 ドットおき縦縞  
 2: クロスハッチ  
 3: 白ラスター  
 4: 赤ラスター  
 5: 緑ラスター  
 6: 青ラスター  
 7: タイトルテロップ  
 8: カラーバー  
 9: 16 ステップグレースケール  
 10: カラーバー & 16 ステップグレースケール

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-36. @GTP (Get Test Pattern)**

コマンド	@GTP (Get Test Pattern)
機能	設定されているテストパターン番号を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
T	54h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
T	54h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~10	30h~31h30h	テストパターン番号 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0: テストパターン OFF  
 1: 1 ドットおき縦縞  
 2: クロスハッチ  
 3: 白ラスター  
 4: 赤ラスター  
 5: 緑ラスター  
 6: 青ラスター  
 7: タイトルテロップ  
 8: カラーバー  
 9: 16 ステップグレースケール  
 10: カラーバー & 16 ステップグレースケール

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-37. @SBR (Set BRight)**

コマンド	@SBR (Set BRight)
機能	ブライトを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
B	42h	
R	52h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	ブライト値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] + (2Bh) は省略可能。例) +14 を指定する場合、2Bh31h34h 及び 31h34h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-38. @GBR (Get BRight)**

コマンド	@GBR (Get BRight)
機能	設定されているブライトを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
B	42h	
R	52h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
B	42h	
R	52h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	ブライト値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-39. @SCO (Set COntrast)**

コマンド	@SCO (Set COntrast)
機能	コントラストを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
C	43h	
0	4Fh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	R コントラスト値 [※2]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	G コントラスト値 [※2]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	B コントラスト値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] + (2Bh) は省略可能。例) +13 を指定する場合、2Bh31h33h 及び 31h33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-40. @GCO (Get COntrast)**

コマンド	@GCO (Get COntrast)
機能	設定されているコントラストを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
0	4Fh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
0	4Fh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	R コントラスト値
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	G コントラスト値
,	2Ch	区切り
-20~+20	2Dh32h30h~2Bh32h30h	B コントラスト値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC

1 : RGB

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-41. @SIT (Set InTensity)**

コマンド	@SIT (Set InTensity)
機能	インテンシティを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
I	49h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	インテンシティ値 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] + (2Bh) は省略可能。例) +9 を指定する場合、2Bh39h 及び 39h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ インテンシティは NTSC 入力画像にのみ有効です

**7-6-42. @GIT (Get InTensity)**

コマンド	@GIT (Get InTensity)
機能	設定されているインテンシティを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	インテンシティ値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-43. @SST (Set SaTuration)**

コマンド	@SST (Set SaTuration)
機能	サチュレーションを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	サチュレーション値 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] + (2Bh) は省略可能。例) +9 を指定する場合、2Bh39h 及び 39h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ サチュレーションは NTSC 入力画像にのみ有効です

**7-6-44. @GST (Get SaTuration)**

コマンド	@GST (Get SaTuration)
機能	設定されているサチュレーションを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10~+10	2Dh31h30h~2Bh31h30h	サチュレーション値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-45. @SGM (Set Gamma)**

コマンド	@SGM (Set Gamma)
機能	ガンマ補正値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
G	47h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-4~+4	2Dh34h~2Bh34h	ガンマ補正値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] -4 : ガンマ補正 暗さ強調 4 (強い)  
-3 : ガンマ補正 暗さ強調 1 :  
-2 : ガンマ補正 暗さ強調 2 :  
-1 : ガンマ補正 暗さ強調 3 (弱い)  
+0 : ガンマ補正 なし  
+1 : ガンマ補正 明るさ強調 1 (弱い)  
+2 : ガンマ補正 明るさ強調 2 :  
+3 : ガンマ補正 明るさ強調 3 :  
+4 : ガンマ補正 明るさ強調 4 (強い)

※ + (2Bh) は省略可能。例) +3 を指定する場合、2Bh33h 及び 33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-46. @GGM (Get Gamma)**

コマンド	@GGM (Get Gamma)
機能	設定されているガンマ補正值を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
G	47h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
G	47h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力ソース [※1]
,	2Ch	区切り
-4~+4	2Dh34h~2Bh34h	ガンマ補正值 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0 : NTSC  
1 : RGB

[※2] -4 : ガンマ補正 暗さ強調 4 (強い)  
-3 : ガンマ補正 暗さ強調 1 :  
-2 : ガンマ補正 暗さ強調 2 :  
-1 : ガンマ補正 暗さ強調 3 (弱い)  
+0 : ガンマ補正 なし  
+1 : ガンマ補正 明るさ強調 1 (弱い)  
+2 : ガンマ補正 明るさ強調 2 :  
+3 : ガンマ補正 明るさ強調 3 :  
+4 : ガンマ補正 明るさ強調 4 (強い)

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力ソースが RGB の場合には、RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用してください。

**7-6-47. @SHU (Set HUE)**

コマンド	@SHU (Set HUE)
機能	HUE を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
H	48h	
U	55h	
,	2Ch	区切り
0~360	30h~33h36h30h	HUE [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0度~360度

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ HUE は NTSC 入力画像にのみ有効です

**7-6-48. @GHU (Get HUE)**

コマンド	@GHU (Get HUE)
機能	設定されている HUE を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
H	48h	
U	55h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
H	48h	
U	55h	
,	2Ch	区切り
0~360	30h~33h36h30h	HUE [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 0度~360度

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-49. @SPP (Set Picture in picture Position)**

コマンド	@SPP (Set Picture in picture Position)
機能	ピクチャ・イン・ピクチャ画像のポジション調整値を設定します

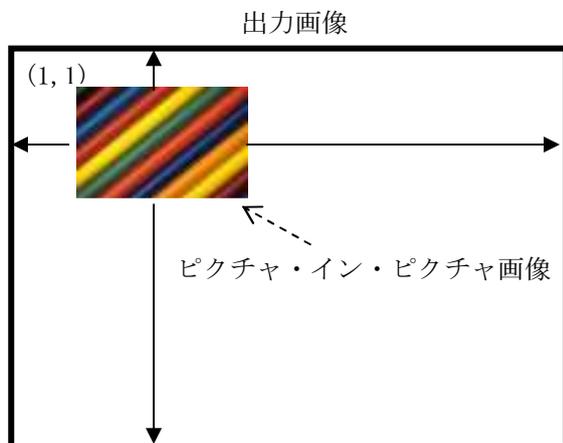
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
1~出力画像 H ポジション (ドット)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 H ポジション調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
1~出力画像 V ポジション (ライン)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 V ポジション調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

[※2] 1 ライン単位で設定

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。



ピクチャ・イン・ピクチャ画像の表示位置を H(横)方向 1ドット~出力画像 H サイズ、V(縦)方向 1ライン~出力画像 V サイズまで移動することができます。

**7-6-50. @GPP (Get Picture in picture Position)**

コマンド	@GPP (Get Picture in picture Position)
機能	設定されているピクチャ・イン・ピクチャ画像のポジション調整値を取得します（データ送信要求）

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
1～出力画像 H ポジション (ドット)	31h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
1～出力画像 V ポジション (ライン)	31h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-51. @SPS (Set Picture in picture Size)**

コマンド	@SPS (Set Picture in picture Size)
機能	ピクチャ・イン・ピクチャ画像のサイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
32～ 出力画像Hサイズ (ドット)	32h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Hサイズ調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
32～ 出力画像Vサイズ (ライン)	32h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Vサイズ調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

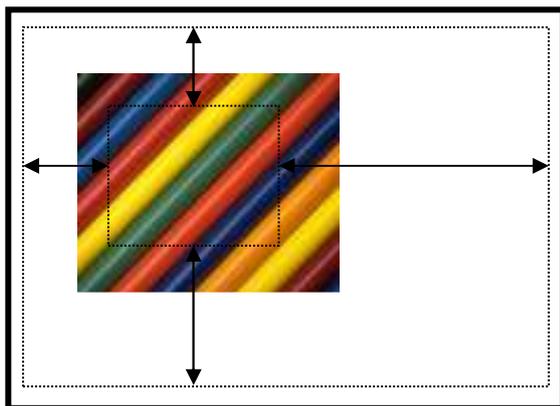
[※1] 2 ドット単位で設定  
32 ドットが最小値になります

[※2] 1 ライン単位で設定  
32 ラインが最小値になります

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

出力画像



ピクチャ・イン・ピクチャ画像の表示サイズを H(横)方向 32 ドット～H 出力画像ドット、V(縦)方向 32 ライン～V 出力画像ラインまで縮小/拡大することができます。

**7-6-52. @GPS (Get Picture in picture Size)**

コマンド	@GPS (Get Picture in picture Size)
機能	設定されているピクチャ・イン・ピクチャ画像のサイズ調整値を取得します（データ送信要求）

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
32～ 出力画像Hサイズ (ドット)	32h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Hサイズ調整値
,	2Ch	区切り
32～ 出力画像Vサイズ (ライン)	32h～	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Vサイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-53. @SMD (Set Multi Display)**

コマンド	@SMD (Set Multi Display)
機能	マルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
M	4Dh	
D	44h	
,	2Ch	区切り
0~3	30h~33h	H 画面分割数
,	2Ch	区切り
0~3	30h~33h	V 画面分割数
,	2Ch	区切り
1~3	31h~33h	H 画面位置 [※1]
,	2Ch	区切り
1~3	31h~33h	V 画面位置 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1]

H 画面位置と V 画面位置

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

例としてマルチ画面タイプ H2, V2 を選択した場合には H1~H2、V1~V2 の画面位置が選択可能です。

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

関連ページ：「6-3-8. マルチ画面設定」28 ページ

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-54. @GMD (Get Multi Display)**

コマンド	@GMD (Get Multi Display)
機能	設定されているマルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を取得します（データ送信要求）

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
D	44h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
D	44h	
,	2Ch	区切り
0~3	30h~33h	H 画面分割数
,	2Ch	区切り
0~3	30h~33h	V 画面分割数
,	2Ch	区切り
1~3	31h~33h	H 画面位置 [※1]
,	2Ch	区切り
1~3	31h~33h	V 画面位置 [※1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1]

H 画面位置と V 画面位置

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-55. @SDS (Set Multi Display Size)**

コマンド	@SDS (Set Multi Display Size)
機能	マルチ画面表示の画像サイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
D	44h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	H サイズ調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ライン)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	V サイズ調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## [※1] 2 ドット単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

## [※2] 1 ライン単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ あらかじめマルチ画面タイプ設定、画面位置設定(コマンド@SMD)でマルチ画像を表示させた後、このコマンドを使用してください。

※ 入力映像ソースにより調整値の範囲が変化します。

**7-6-56. @GDS (Get Multi Display Size)**

コマンド	@GDS (Get Multi Display Size)
機能	設定されているマルチ画面表示の画像サイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ライン)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力映像ソースにより調整値の範囲が変化します。

**7-6-57. @SDP (Set multi Display Position)**

コマンド	@SDP (Set multi Display Position)
機能	マルチ画面表示の画像ポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
D	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	H ポジション調整値 [※1]
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	V ポジション調整値 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 2 ドット単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[※2] 1 ライン単位で設定

「+ (2Bh)」は省略可能。 例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ あらかじめマルチ画面タイプ設定、画面位置設定(コマンド@SMD)でマルチ画像を表示させた後、このコマンドを使用してください。

※ 入力映像ソースにより調整値の範囲が変化します。

**7-6-58. @GDP (Get multi Display Position)**

コマンド	@GDP (Get multi Display Position)
機能	設定されているマルチ画面表示の画像ポジション調整値を取得します（データ送信要求）

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-3000~+3000 (ドット)	2Dh33h30h30h30h~ 2Bh33h30h30h30h	V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ 入力映像ソースにより調整値の範囲が変化します。

**7-6-59. @GIV (Get Id & Version)**

コマンド	@GIV (Get Id & Version)
機能	接続されている製品 ID とバージョンを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
V	56h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
V	56h	
,	2Ch	区切り
V	56h	製品 ID
S	53h	
C	43h	
-	2Dh	
0	30h	
2	32h	
,	2Ch	区切り
1	31h	バージョン
.	2Eh	
0	30h	
0	30h	
R	52h	
0	30h	デリミタ
CR	0Dh	
LF	0Ah	

※ 返り値のバージョンは変わることがあります。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-60. @SEC (Set External Command)**

コマンド	@SEC (Set External Command)
機能	外部コントロールコマンドを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~10	31h~31h30h	登録番号
,	2Ch	区切り
1~2	31h~32h	使用する RS-232C ポート [※1]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ボーレート [※2]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	データ長 [※3]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	パリティチェック [※4]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	ストップビット [※5]
,	2Ch	区切り
00~30	30h30h~33h30h	外部通信コマンドのデータ数 [※6]
,	2Ch	区切り
	30h~46h : :	外部通信コマンド [※7]
,	2Ch	
	20h~7Fh : :	コメント [※8]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] 1 : RS-232C CH1  
2 : RS-232C CH2

[※2] 0 : 19200bps  
1 : 9600bps  
2 : 38400bps

[※3] 0 : 7 ビット  
1 : 8 ビット

[※4] 0 : なし  
1 : 奇数パリティ  
2 : 偶数パリティ

[※5] 0 : 1 ビット  
1 : 2 ビット

[※6] 外部通信コマンドのデータ数  
**2 バイト固定**

[※7] 外部通信コマンドを設定  
外部コマンド 30 バイト分を指定できます。  
アスキーコード変換については「7-7. アスキーから 16 進数への変換表」107 ページを参照してください。

[※8] コメント（外部通信コマンドの名称等）を設定  
**10 バイト固定**、コメントが 10 バイト未満の場合はアスキーコード 20h で 10 バイト目まで埋めてください。  
アスキーコードの 20h~7Fh を使用することができます。

以下の条件下での設定例を示します。

登録番号	1
使用する RS-232C ポート	CH1
ボーレート	9600bps
データ長	8 ビット
パリティチェック	なし
ストップビット	1 ビット
外部通信コマンドのデータ数	5 バイト
外部通信コマンド	"PON"+CRLF
コメント	"POWER ON "

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1	31h	登録番号 1
,	2Ch	区切り
1	31h	使用する RS-232C ポート CH1
,	2Ch	区切り
1	31h	ボーレート 9600bps
,	2Ch	区切り
1	31h	データ長 8 ビット
,	2Ch	区切り
0	30h	パリティチェック なし
,	2Ch	区切り
0	30h	ストップビット 1 ビット
,	2Ch	区切り

5	35h	外部通信コマンドのデータ数 5 バイト 区切り
,	2Ch	
5	35h	外部通信コマンド "PON"+CRLF [※9]
0	30h	
4	34h	
F	46h	
4	34h	
E	45h	
0	30h	
D	44h	
0	30h	
A	41h	
,	2Ch	コメント "POWER ON "
P	50h	
O	4Fh	
W	57h	
E	45h	
R	52h	
	20h	
O	51h	
N	4eh	
	20h	
	20h	デリミタ
CR	0Dh	
LF	0Ah	

**送信データ : @SEC, 1, 1, 1, 1, 0, 0, 5, 504F4E0D0A, POWER ON**

[※9]

P	0	N	CR	LF	外部通信コマンドデータ アスキーコード変換					
		↓								
50h	4Fh	4Eh	0Dh	0Ah						
↓	↓	↓	↓	↓	アスキーコードの十の位と一 の位を分け、16進変換					
5	0	4	F	4	E	0	D	0	A	
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
35h	30h	34h	46h	34h	45h	30h	44h	30h	41h	送信データ

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## 7-6-61. @GEC (Get External Command)

コマンド	@GEC (Get External Command)
機能	設定されている外部コントロールコマンドを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~10	31h~31h30h	登録番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~2	31h~32h	使用する RS-232C ポート [※1]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ボーレート [※2]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	データ長 [※3]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	パリティチェック [※4]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	ストップビット [※5]
,	2Ch	区切り
00~30	30h30h~33h30h	外部通信コマンドのデータ数 [※6]
,	2Ch	区切り
	30h~46h	外部通信コマンド [※7]
	⋮	
	⋮	
,	2Ch	区切り
	20h~7Fh	コメント [※8]
	⋮	
	⋮	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 1 : RS-232C CH1  
2 : RS-232C CH2

- [※2] 0 : 19200bps  
1 : 9600bps  
2 : 38400bps
  
- [※3] 0 : 7 ビット  
1 : 8 ビット
  
- [※4] 0 : なし  
1 : 奇数パリティ  
2 : 偶数パリティ
  
- [※5] 0 : 1 ビット  
1 : 2 ビット
  
- [※6] 外部通信コマンドのデータ数  
**2 バイト固定**
  
- [※7] 外部通信コマンド  
**60 バイト固定**
  
- [※8] コメント（外部通信コマンドの名称等）  
**10 バイト固定**

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-62. @EXC (EXecute external Command)**

コマンド	@EXC (EXecute external Command)
機能	外部コントロールコマンドを実行します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
E	45h	
X	58h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~10	31h~31h30h	外部通信コマンド登録番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

※ 外部コントロールコマンドを接続されている機器に送信します、接続されている機器からの応答は受信しません。  
また、外部コントロールコマンドの実行で使用する通信ポート(RS-232C CH1 又は CH2)は送信専用となり、データ受信はできなくなります。

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-63. @SFP (Set Font Parameter)**

コマンド	@SFP (Set Font Parameter)
機能	タイトルテロップ表示位置/サイズ/色を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~9	30h~39h	表示位置/文字サイズ [※1]
,	2Ch	区切り
0~7	30h~37h	文字色 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0 : 表示位置=左上、文字サイズ=小  
 1 : 表示位置=右上、文字サイズ=小  
 2 : 表示位置=中央、文字サイズ=小  
 3 : 表示位置=左下、文字サイズ=小  
 4 : 表示位置=右下、文字サイズ=小  
 5 : 表示位置=左上、文字サイズ=大  
 6 : 表示位置=右上、文字サイズ=大  
 7 : 表示位置=中央、文字サイズ=大  
 8 : 表示位置=左下、文字サイズ=大  
 9 : 表示位置=右下、文字サイズ=大

- [※2] 0 : 白  
 1 : 黒  
 2 : 赤  
 3 : 緑  
 4 : 青  
 5 : 黄  
 6 : 水色  
 7 : 紫

## ・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。  
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

※ タイトルテロップの表示方法は 21 ページ、72 ページをご参照ください。

**7-6-64. @GFP (Get Font Parameter)**

コマンド	@GFP (Get Font Parameter)
機能	設定されているタイトルテロップ表示位置/サイズ/色を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~9	30h~39h	表示位置/文字サイズ [※1]
,	2Ch	区切り
0~7	30h~37h	文字色 [※2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [※1] 0 : 表示位置=左上、文字サイズ=小  
 1 : 表示位置=右上、文字サイズ=小  
 2 : 表示位置=中央、文字サイズ=小  
 3 : 表示位置=左下、文字サイズ=小  
 4 : 表示位置=右下、文字サイズ=小  
 5 : 表示位置=左上、文字サイズ=大  
 6 : 表示位置=右上、文字サイズ=大  
 7 : 表示位置=中央、文字サイズ=大  
 8 : 表示位置=左下、文字サイズ=大  
 9 : 表示位置=右下、文字サイズ=大

- [※2] 0 : 白  
 1 : 黒  
 2 : 赤  
 3 : 緑  
 4 : 青  
 5 : 黄  
 6 : 水色  
 7 : 紫

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-65. @SFD (Set Font Data)**

コマンド	@SFD (Set Font Data)
機能	タイトルテロップ文字を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
D	44h	
,	2Ch	区切り
	20h~7Fh	タイトルテロップ文字 [※1]
	∴	
	∴	デリミタ
CR	0Dh	
LF	0Ah	

[※1] アスキーコード 20h~7Fh

**10バイト固定**、10バイト未満の場合はアスキーコード 20h で 10 バイト目まで埋めてください。

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

**7-6-66. @GFD (Get Font Data)**

コマンド	@GFD (Get Font Data)
機能	設定されているタイトルテロップ文字を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
D	44h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

## ・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
D	44h	
,	2Ch	区切り
	20h~7Fh	タイトルテロップ文字 [※1]
	:	
	:	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[※1] アスキーコード 20h~7Fh

**10バイト固定**

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

## 7-7. アスキーから16進数への変換表

アスキーから16進数への変換表										CR	0Dh
										LF	0Ah
SP	20h	0	30h	@	40h	P	50h	`	60h	p	70h
!	21h	1	31h	A	41h	Q	51h	a	61h	q	71h
"	22h	2	32h	B	42h	R	52h	b	62h	r	72h
#	23h	3	33h	C	43h	S	53h	c	63h	s	73h
\$	24h	4	34h	D	44h	T	54h	d	64h	t	74h
%	25h	5	35h	E	45h	U	55h	e	65h	u	75h
&	26h	6	36h	F	46h	V	56h	f	66h	v	76h
'	27h	7	37h	G	47h	W	57h	g	67h	w	77h
(	28h	8	38h	H	48h	X	58h	h	68h	x	78h
)	29h	9	39h	I	49h	Y	59h	i	69h	y	79h
*	2Ah	:	3Ah	J	4Ah	Z	5Ah	j	6Ah	z	7Ah
+	2Bh	;	3Bh	K	4Bh	[	5Bh	k	6Bh	{	7Bh
,	2Ch	<	3Ch	L	4Ch	¥	5Ch	l	6Ch		7Ch
-	2Dh	=	3Dh	M	4Dh	]	5Dh	m	6Dh	}	7Dh
.	2Eh	>	3Eh	N	4Eh	^	5Eh	n	6Eh	~	7Eh
/	2Fh	?	3Fh	O	4Fh	_	5Fh	o	6Fh	.	7Fh

## 8. 製品仕様

入力信号	
映像 ・ アナログ RGB	1ch 映像信号 : RGB 信号 0.7Vp-p (Sync on Green 時 1.0Vp-p) /75Ω : YPbPr 信号 1.0Vp-p (Y) /0.7Vp-p (Pb・Pr) /75Ω 同期信号 : アナログまたは TTL レベル (CS シンク対応) BNC コネクタ
・ アナログビデオ	1ch VBS 信号 : 1.0Vp-p/75Ω BNC コネクタ Y/C 信号 : 1.0Vp-p (Y) /0.286Vp-p (C) 75Ω S 端子 (ミニ DIN4 ピン) コネクタ
出力信号	
映像 ・ アナログ RGB	1ch×2 分配出力 映像信号 : 0.7Vp-p 同期信号 : TTL レベル BNC コネクタ/高密度 Dsub 15 ピンコネクタ
・ アナログ RGB ループスルー	1ch 映像信号 : 0.7Vp-p 同期信号 : TTL レベル 高密度 Dsub15 ピンコネクタ 映像周波数特性 : 150MHz にて-3dB
・ デジタル RGB	1ch DVI Ver1.0 DVI-D 24 ピンコネクタ
・ アナログビデオループスルー	1ch VBS 信号 : 1.0Vp-p/75Ω BNC コネクタ 映像周波数特性 : 20MHz にて-3dB
機能	
・ コンバート部	サンプリングフェーズ調整、クロック数調整、画質調整機能 (ブライトネス、コントラスト、フィルター、入出力画像サイズ、表示位置、台形補正) 3次元 Y/C 分離 出力フォーマット : VGA/SVGA/XGA/WXGA/QVGA/SXGA/SXGA+
・ その他	プリセットメモリー (4メモリー) ラストメモリーON/OFF キーロック機能 外部同期入力 蛍光表示管スタンバイ機能
外部制御	
・ RS-232C	2ch D-sub9 ピンコネクタ (オス)
その他仕様	
・ 電源電圧	AC90~250V 50/60Hz±3Hz
・ 消費電力	約 20W
・ 外形寸法	430 (W) × 44 (H) × 250 (D) (EIA ラック 1U、突起物含まず)
・ 質量	3.4kg
・ 使用温度範囲	0~+40°C
・ 使用湿度範囲	20~90% (但し結露なきこと)
・ 保存温度範囲	-20~+80°C
・ 保存湿度範囲	20~90% (但し結露なきこと)
・ 付属品	RGB ケーブル (1.8m)、電源コード、ラック取付金具

※付属の電源コードは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

## 9. 故障かな？と思う前に

### 9-1.

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？  
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？  
-はい- -いいえ-

**株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部**

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部  
TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765  
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

発行日 2010年03月12日 Ver.1.2.0\_D  
\* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。  
\* 本書の無断転載を禁じます。